

2 年 次 生

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	アンサンブル I	内田、宮永、稲葉、 寺沢、田中、河野

科目概要

2年生では1年次に学んだアンサンブルの基礎知識を活かして、更にジャンルを掘り下げた課題曲やオリジナル楽曲を中心に授業を展開していきます。
バンド単位でのアンサンブルとして、パートごとの役割を把握し楽曲の構成やアレンジ、表現力などを学びます。

到達目標

少しでも早く自分のパートに慣れて、常にアンサンブル全体を見据えた演奏が出来るようになることを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	オリエンテーション・課題曲の紹介	予習の方法、楽器の取り扱い、試験までの流れ等について説明するとともに、課題曲についての紹介を行います。
第2回	バンドアンサンブル演習1	課題曲の構成の確認やメロディコード譜面の用意をします。
第3回	バンドアンサンブル演習2	メロディや構成を考え、パートごとにアレンジを煮詰めていきます。
第4回	バンドアンサンブル演習3	パートごとのアレンジを煮詰めていくと共に、楽曲全体を通した表現方法を考えます。
第5回	バンドアンサンブル演習4	メロディ主体のアンサンブルを更に煮詰めていきます。
第6回	1クォーターのまとめ	クォーター末試験(ライブ)に備え、曲順やステージ構成、メンバー紹介などの演出について練習します。
第7回	クォーター末試験	スタジオブーカにてリハーサル後、ライブ形式で実施します。 評価ポイント参照

クォーター末試験評価方法

実技試験50%、平常点25%、出席点25%

※実技試験はステージ形式で行い、バンドとしての見せ方、パフォーマンスなどを評価項目として、3人以上の講師立会いのもとで実技試験を行います。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲の選定	オリジナル曲または担当講師の選択する候補曲の中から課題曲の選定をします。
第2回	バンドアンサンブル演習5	歌詞、楽曲構成、コード進行(転調の有無)などを確認します。
第3回	バンドアンサンブル演習6	パートごとの楽曲に適した演奏方法を確認したり、リズムアレンジなどを研究します。
第4回	バンドアンサンブル演習7	イントロ、インターラード(間奏)、エンディング、ソロなど楽曲全体を通した練習をします。
第5回	バンドアンサンブル演習8	全体練習を通して演奏者同士のインタープレイなどを練習します。
第6回	バンドアンサンブル演習9	ヴォーカル・メロディ主体のアンサンブルやバンドとしての個性的な演出方法などを研究します。
第7回	2クォーターのまとめ	ライブを想定しながら、メンバー間のコミュニケーションや、パフォーマンスを練習します。
第8回	クォーター末試験	スタジオブーカにてリハーサル後、ライブ形式で実施します。 評価ポイント参照

学期末試験評価方法

実技試験50%、平常点25%、出席点25%

※実技試験はステージ形式で行い、バンドとしての見せ方、パフォーマンスなどを評価項目として、3人以上の講師立会いのもとで実技試験を行います。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	アンサンブルⅡ	内田、宮永、稲葉、 寺沢、田中、河野

科目概要

3・4クォーターではアンサンブルの基本事項を確実に理解すると共にオリジナル曲を中心にバンドとしての表現力やオリジナリティの演出についても学んでいきます。

到達目標

今までのアンサンブルで学んだ経験をもとに、ボーカルやメロディ楽器主体の音作りやアレンジ力を強化したりパート(楽器)という立場から離れ常にバンドアンサンブル全体を見渡せる応用力を身につけます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲の選定	オリジナル曲(など)課題曲の選定をします。
第2回	バンドアンサンブル実習1	楽曲タイトル、歌詞、構成、コード進行などを確認します。
第3回	バンドアンサンブル実習2	全体を通して練習し楽曲構成の理解に務めます。
第4回	バンドアンサンブル実習3	構成に準じたアレンジ、ソロパートの設定などを行います。
第5回	バンドアンサンブル実習4	イントロの空気感、サビへのつなげ方、ブリッジの演出方法などを考えます。
第6回	3クォーターのまとめ	クォーター末試験(ライブ)に備え、曲順やステージ構成、メンバー紹介などの演出について練習します
第7回	クォーター末試験	スタジオブーカにてリハーサル後、ライブ形式で実施します。 評価ポイント参照

クォーター末試験評価方法

実技試験50%、平常点25%、出席点25%
※実技試験はステージ形式で行い、バンドとしての見せ方、パフォーマンスなどを評価項目として、3人以上の講師立会いのもとで実技試験を行います。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲の選定	オリジナル曲(など)課題曲の選定をします。
第2回	バンドアンサンブル実習5	楽曲タイトル、歌詞、構成、コード進行などを確認します。
第3回	バンドアンサンブル実習6	全体を通して練習し楽曲構成の理解に務めます。
第4回	バンドアンサンブル実習7	構成に準じたアレンジ、ソロパートの設定などを行っていきます。
第5回	バンドアンサンブル実習8	イントロの空気感、サビへのつなげ方、ブリッジの演出方法などを考えます。
第6回	バンドアンサンブル実習9	バンドとしての表現力、オリジナリティの強化を考えます。
第7回	4クォーターのまとめ	ライブを想定しながら、メンバー間のコミュニケーションや、パフォーマンスを練習します。
第8回	クォーター末試験	スタジオブーカにてリハーサル後、ライブ形式で実施します。 評価ポイント参照

学期末試験評価方法

実技試験50%、平常点25%、出席点25%
※実技試験はステージ形式で行い、バンドとしての見せ方、パフォーマンスなどを評価項目として、3人以上の講師立会いのもとで実技試験を行います。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	プリプロダクション I	前田基彦

科目概要

レコーディングスタジオにおいて必要な知識を演奏を通じて習得する授業です。ミュージシャン、プレイヤーとして無くてはならないレコーディングにおける必要知識を、近年主要国の音楽チャートに入った楽曲を題材に、60回の授業の中で9曲(6回の授業で1曲)のペースで学んでいきます。

到達目標

レコーディング時に必要なアンサンブル力、コミュニケーションスキル、キューボックス使用法の習得。楽曲のアレンジを研究、演奏することで授業外での活動(バンドやアレンジ等)のヒントとなる知識習得。簡易的なセルフレコーディング作業スキル習得。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲 1	楽曲発表、楽譜作成
第2回	課題曲 1	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第3回	課題曲 1	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第4回	課題曲 2	楽曲発表、楽譜作成
第5回	課題曲 2	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第6回	課題曲 2	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第7回	課題曲 3	楽曲発表、楽譜作成
クォーター末試験評価方法		
小テスト結果 (レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、 レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、 受講態度や積極性10%で算出致します。		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲 3	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第2回	課題曲 3	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第3回	セルフレコーディング	マイクの立て方、収録方法、DAW
第4回	課題曲 4	楽曲発表、楽譜作成
第5回	課題曲 4	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第6回	課題曲 4	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第7回	課題曲 5	楽曲発表、楽譜作成
第8回	課題曲 5	演奏(リハーサル1回、本番1回)期末テスト
学期末試験評価方法		
期末テスト結果 (レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、 レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、 受講態度や積極性10%で算出致します。		

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	プリプロダクションⅡ	前田基彦

科目概要

レコーディングスタジオにおいて必要な知識を演奏を通じて習得する授業です。ミュージシャン、プレイヤーとして無くてはならないレコーディングにおける必要知識を、近年主要国の音楽チャートに入った楽曲を題材に、60回の授業の中で9曲(6回の授業で1曲)のペースで学んでいきます。

到達目標

レコーディング時に必要なアンサンブル力、コミュニケーションスキル、キューボックス使用法の習得。楽曲のアレンジを研究、演奏することで授業外での活動(バンドやアレンジ等)のヒントとなる知識習得。簡易的なセルフレコーディング作業スキル習得。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲 5	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第2回	課題曲 6	楽曲発表、楽譜作成
第3回	課題曲 6	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第4回	課題曲 6	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第5回	課題曲 7	楽曲発表、楽譜作成
第6回	課題曲 7	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第7回	課題曲 7	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト

クォーター末試験評価方法

小テスト結果(レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、受講態度や積極性10%で算出致します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲 8	楽曲発表、楽譜作成
第2回	課題曲 8	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第3回	課題曲 8	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第4回	課題曲 9	楽曲発表、楽譜作成
第5回	課題曲 9	演奏(リハーサル1回、本番1回)
第6回	課題曲 9	演奏(リハーサル1回、本番1回)小テスト
第7回	セルフレコーディング	マイクの立て方、収録方法、DAW
第8回	セルフレコーディング	マイクの立て方、収録方法、DAW 期末テスト

学期末試験評価方法

期末テスト結果(レコーディングにおける必要知識、キューボックス使用法、アンサンブル力、コミュニケーションスキル)30%、レポート(譜面作成スキル)30%、欠席や遅刻の有無30%、受講態度や積極性10%で算出致します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	プリプロダクションⅢ	坂本 洋

科目概要

SSWコースでは、自分達が作曲したオリジナルを、本番のレコーディングに近い形でレコーディング体験をします。商品になる手前の楽曲を、アレンジも含めて担当講師がプロデュース、エンジニアリングしてゆきます。

到達目標

弾語り形態から、フルオーケストラアレンジまで楽しむことが出来るでしょう。3人(A,B,C)でークラスを形成します。

★この授業に必要な物:オリジナル曲、コード譜、歌詞カード、参考CD

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	プリプロとは?	授業内容とタイムスケジュール、順番決め
第2回	A曲アレンジ期間	楽曲打合せ、歌詞、コードなどのチェック
第3回	Midi Data制作	オケ制作が始まります
第4回	Audio Rec楽器ダビング	Midi DataをAudioにRec。Gt等の生楽器Rec
第5回	Vo Rec & Mix Down	Vo RecとMix Down CD-R制作
第6回	B曲アレンジ開始	楽曲打合せ、歌詞、コードなどのチェック
第7回	中間試験	弾語り、オケ等でブースにはいってライブ録音

クォーター末試験評価方法

出席点50%ペーパーテスト50%:コード譜作りを通じて、この地球に唯一の共通言語、譜面を書ける様にしましょう。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Midi Data制作	オケ制作が始まります
第2回	Audio Rec楽器ダビング	Midi DataをAudioにRec。Gt等の生楽器Rec
第3回	Vo Rec & Mix Down	Vo RecとMix Down CD-R制作
第4回	C曲アレンジ開始	楽曲打合せ、歌詞、コードなどのチェック
第5回	Midi Data制作	オケ制作が始まります
第6回	Audio Rec楽器ダビング	Midi DataをAudioにRec。Gt等の生楽器Rec
第7回	Vo Rec & Mix Down	Vo RecとMix Down CD-R制作
第8回	期末試験	A,B,C曲をブース内で歌唱、録音

学期末試験評価方法

出席点50%ペーパーテスト50%:コード譜作りを通じて、この地球に唯一の共通言語、譜面を書ける様にしましょう。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	プリプロダクションⅣ	坂本 洋

科目概要

SSWコースでは、自分達が作曲したオリジナルを、本番のレコーディングに近い形でレコーディング体験をします。商品になる手前の楽曲を、アレンジも含めて担当講師がプロデュース、エンジニアリングしてゆきます。

到達目標

弾語り形態から、フルオーケストラアレンジまで楽しむことが出来るでしょう。3人(A,B,C)でークラスを形成します。

★この授業に必要な物:オリジナル曲、コード譜、歌詞カード、参考CD

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	プリプロとは?	授業内容とタイムスケジュール、順番決め
第2回	A曲アレンジ期間	楽曲打合せ、歌詞、コードなどのチェック
第3回	Midi Data制作	オケ制作が始まります
第4回	Audio Rec楽器ダビング	Midi DataをAudioにRec。Gt等の生楽器Rec
第5回	Vo Rec & Mix Down	Vo RecとMix Down CD-R制作
第6回	B曲アレンジ開始	楽曲打合せ、歌詞、コードなどのチェック
第7回	中間試験	弾語り、オケ等でブースにはいってライブ録音

クォーター末試験評価方法

出席点50%ペーパーテスト50%:コード譜作りを通じて、この地球に唯一の共通言語、譜面を書ける様にしましょう。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Midi Data制作	オケ制作が始まります
第2回	Audio Rec楽器ダビング	Midi DataをAudioにRec。Gt等の生楽器Rec
第3回	Vo Rec & Mix Down	Vo RecとMix Down CD-R制作
第4回	C曲アレンジ開始	楽曲打合せ、歌詞、コードなどのチェック
第5回	Midi Data制作	オケ制作が始まります
第6回	Audio Rec楽器ダビング	Midi DataをAudioにRec。Gt等の生楽器Rec
第7回	Vo Rec & Mix Down	Vo RecとMix Down CD-R制作
第8回	期末試験	A,B,C曲をブース内で歌唱、録音

学期末試験評価方法

出席点50%ペーパーテスト50%:コード譜作りを通じて、この地球に唯一の共通言語、譜面を書ける様にしましょう。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	プリプロダクションⅢ	三浦年一

科目概要

CD制作において本番に近い形で行うテストレコーディングをプリプロダクションといいます。授業ではレベルの高い音源制作を目的とし、講師がプロデューサーまたはディレクター、学生がアーティストという立場で作業を進めます。内容はオリジナル曲の制作、ヴォーカルや楽器のレコーディングなどです。

到達目標

春学期ではオリジナル楽曲を2曲作ります。アーティストキャラクターに沿った形でのクオリティーの高い作品が目標です。ヴォーカルや楽器演奏においてもテクニックや表現力などのスキルが1年次より数段レベルアップしたものを目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽曲コンセプトミーティング 楽曲-A	オリジナル楽曲-Aを作っていくための打ち合わせ。歌詞、楽曲、アレンジ、サウンドなどの方向性を決め制作に取り掛かります。
第2回	楽曲制作 楽曲-A-1	楽曲コンセプトミーティングの内容に沿って具体的に歌詞、楽曲を制作し、コンセプトに照らし合わせチェックします。
第3回	楽曲制作 楽曲-A-2	前回は引き続き楽曲-Aの制作をします。より良いものを作るため問題点がある場合は修正をしていきます。
第4回	楽曲制作 楽曲-A-3	歌以外の伴奏となるバックトラックを作っていきます。アレンジの確認作業と曲によっては音楽データのプログラミングをします。
第5回	レコーディング 楽曲-A-1	ガイドとしての仮ヴォーカルとバックトラックに必要なギター、ピアノなどの生楽器をレコーディングします。
第6回	レコーディング 楽曲-A-2	メインのヴォーカルのレコーディングをします。良いものを録るため何度も歌います。必要であればコーラスもレコーディングをします。
第7回	第1クォーター末試験	楽曲-Aの作品提出。簡単なトラックダウン(各楽器とヴォーカルなどのバランスをとり音を整えること)をして完成形を提出します。

クォーター末試験評価方法

試験点60%...楽曲としてのクオリティー、オリジナリティーなど仕上がりの評価とヴォーカル、楽器演奏などのテクニック、表現力、安定感などの評価を合わせて採点します。
出席点30% 平常点10%...授業態度、積極性など

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽曲コンセプトミーティング 楽曲-B	オリジナル楽曲-Bを作っていくための打ち合わせ。できるだけ楽曲-Aとは異なったタイプの曲にします。
第2回	楽曲制作 楽曲-B-1	楽曲コンセプトミーティングの内容に沿って歌詞、楽曲を制作しコンセプトに照らし合わせチェックします。
第3回	楽曲制作 楽曲-B-2	前回は引き続き楽曲-Bの制作をします。より良いものを作るため問題点がある場合は修正をしていきます。
第4回	楽曲制作 楽曲-B-3	歌以外の伴奏となるバックトラックを作っていきます。アレンジの確認作業と曲によっては音楽データのプログラミングをします。
第5回	レコーディング 楽曲-B-1	ガイドとしての仮ヴォーカルとバックトラックに必要なギター、ピアノなどの生楽器をレコーディングします。
第6回	レコーディング 楽曲-B-2	メインのヴォーカルのレコーディングをします。良いものを録るため何度も歌います。必要であればコーラスもレコーディングをします。
第7回	トラックダウン 楽曲-A&B	楽曲-Aと楽曲-Bのトラックダウンをします。楽曲コンセプトに沿った音になるようにバランスをとり、調整します。
第8回	第2クォーター末試験	楽曲Aと楽曲Bの2作品入りCDとして提出。2曲の音圧、音質を揃える簡単なマスタリング作業をして提出します。

学期末試験評価方法

試験点60%...楽曲としてのクオリティー、オリジナリティーなど仕上がりの評価とヴォーカル、楽器演奏などのテクニック、表現力、安定感などの評価を合わせて採点します。
出席点30% 平常点10%...授業態度、積極性など

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	プリプロダクションⅣ	三浦年一

科目概要

CD制作において本番に近い形で行うテストレコーディングをプリプロダクションといいます。授業ではレベルの高い音源制作を目的とし、講師がプロデューサーまたはディレクター、学生がアーティストという立場で作業を進めます。内容はオリジナル曲の制作、ヴォーカルや楽器のレコーディングなどです。

到達目標

秋学期ではオリジナル楽曲を2曲作ります。2年次最後ということもあり、よりクオリティーの高いオリジナリティーのある作品を目標とします。ヴォーカルや楽器演奏においてもテクニックや表現力などのスキルが春学期よりもレベルアップしたものを目指します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽曲コンセプトミーティング 楽曲-C	オリジナル楽曲-Cを作っていくための打ち合わせ。新しい自分がみつけれられるような楽曲が望ましいです。
第2回	楽曲制作 楽曲-C-1	楽曲コンセプトミーティングの内容に沿って具体的に歌詞、楽曲を制作し、コンセプトに照らし合わせチェックします。
第3回	楽曲制作 楽曲-C-2	前回は引き続き楽曲-Cの制作をします。より良いものを作るため問題点がある場合は修正をしていきます。
第4回	楽曲制作 楽曲-C-3	歌以外の伴奏となるバックトラックを作っていきます。アレンジの確認作業と曲によっては音楽データのプログラミングをします。
第5回	レコーディング 楽曲-C-1	ガイドとしての仮ヴォーカルとバックトラックに必要なギター、ピアノなどの生楽器をレコーディングします。
第6回	レコーディング 楽曲-C-2	メインのヴォーカルのレコーディングをします。良いものを録るため何度か歌います。必要であればコーラスもレコーディングをします。
第7回	第3クォーター末試験	楽曲-Cの作品提出。簡単なトラックダウン(各楽器とヴォーカルなどのバランスをとり音を整えること)をして完成形を提出します。

クォーター末試験評価方法

試験点60%...楽曲としてのクオリティー、オリジナリティーなど仕上がりの評価とヴォーカル、楽器演奏などのテクニック、表現力、安定感などの評価を合わせて採点します。
出席点30% 平常点10%...授業態度、積極性など

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	楽曲コンセプトミーティング 楽曲-D	オリジナル楽曲-Dを作っていくための打ち合わせ。最後の楽曲なので、2年間の集大成的なものにします。
第2回	楽曲制作 楽曲-D-1	楽曲コンセプトミーティングの内容に沿って具体的に歌詞、楽曲を制作し、コンセプトに照らし合わせチェックします。
第3回	楽曲制作 楽曲-D-2	前回は引き続き楽曲-Dの制作をします。より良いものを作るため問題点がある場合は修正をしていきます。
第4回	楽曲制作 楽曲-D-3	歌以外の伴奏となるバックトラックを作っていきます。アレンジの確認作業と曲によっては音楽データのプログラミングをします。
第5回	レコーディング 楽曲-D-1	ガイドとしての仮ヴォーカルとバックトラックに必要なギター、ピアノなどの生楽器をレコーディングします。
第6回	レコーディング 楽曲-D-2	メインのヴォーカルのレコーディングをします。良いものを録るため何度か歌います。必要であればコーラスもレコーディングをします。
第7回	トラックダウン 楽曲-C & D	楽曲-Cと楽曲-Dのトラックダウンをします。楽曲コンセプトに沿った音になるようにバランスをとり、調整します。
第8回	第4クォーター末試験	楽曲Cと楽曲Dの2作品入りCDとして提出。2曲の音圧、音質を揃える簡単なマスタリング作業をして提出します。

学期末試験評価方法

試験点60%...楽曲としてのクオリティー、オリジナリティーなど仕上がりの評価とヴォーカル、楽器演奏などのテクニック、表現力、安定感などの評価を合わせて採点します。
出席点30% 平常点10%...授業態度、積極性など

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	プリプロダクションⅢ (B.Vocal)	山本英武

科目概要

音源制作において、本番に限りなく近い形で行うテストレコーディングをプリプロダクションと言います。講師がプロデューサー又はディレクター、学生がアーティストという立場で作業を進めます。春学期では主にレコーディング時の歌唱力のレベルアップを目指します。

到達目標

自分の声の特徴や長所短所、を理解し、自分の個性に合っている、または活かせるのはどのような楽曲かを実践を通じて理解します。その上で自分の歌を聞いて自分で正しくジャッジ出来るようになることを目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	バラード曲を歌う	バラード曲を歌うことを通して、楽曲を大きなスケールで歌うために何が必要か考えた上で、歌を歌ってみます。
第2回	バラードを録音してみる	録音した歌を聴きながら改善点をさぐっていきます。より細かく掘り下げていきながら歌を録音、完成させます。
第3回	テンポの速い曲を歌う	テンポの速い曲を歌う時に注意すべき事、リズムの取り方など感じながら、まずは歌を歌ってみます。
第4回	テンポの速い曲を録音してみる	録音した歌を聴きながら改善点をさぐっていきます。より細かく掘り下げていきながら歌を録音、完成させます。
第5回	やってこなかったタイプの曲を歌う	新たな発見や苦手克服の為、今までやってこなかったタイプの曲を歌い、録音します。
第6回	課題曲を決め歌ってみる	これまでの事を踏まえ歌唱力向上の為に適切な楽曲を選び、まずは歌って録音し現状と課題点を確認します。
第7回	テスト(課題曲のボーカル録音)	一番最初と比べどれぐらい向上できたか。3テイクの中で出来るだけ良い歌が録音出来るように歌ってみます。

クォーター末試験評価方法

平常点50%(自分の足りない点について認識し努力しているか)試験点20%(限られた時間の中でどのように対応できるか)出席点30%。
自分の長所や短所に対してより丁寧に考え、対応して歌えているかなどをチェックします

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	プレゼンする為の曲を選ぶ	自分の声、歌に合っていると思う曲を二曲選びます。長所や個性が生かせる楽曲は何か?一緒に考えていきます。
第2回	選んだ曲を録音してみる	録音した歌を聴きながら改善点をさぐっていきます。より細かく掘り下げていきながら歌を録音していきます。
第3回	もう一段階良い歌にするには?①	より印象的に第三者に聞いてもらう為に気をつける点や意識する事を学びながら、その具体的な方法を探っていきます。
第4回	プレゼン用音源の完成①	何テイクか録った歌の良い部分を繋げて、ひとつにまとめてOKテイクを作ります。音質など整えて音源を完成します。
第5回	プレゼン用音源の曲を歌う	一度目に比べてどれぐらい改善できたかを客観的に確認します。さらに向上できるようにディスカッションしていきます。
第6回	もう一段階良い歌にするには?②	より良く印象的に第三者に聞いてもらう為に気をつける点や意識する事を学び、その具体的な方法を探っていきます。
第7回	プレゼン用音源の完成②	何テイクか録った歌の良い部分を繋げて、ひとつにまとめてOKテイクを作ります。音質など整えて音源を完成します。
第8回	テスト(ボーカル録音)	二曲の内一曲を選び、最初と比べどれぐらい向上できたか。3テイクの中で出来るだけ良い歌が録音出来るよう歌います。

学期末試験評価方法

平常点50%(自分の足りない点について認識し努力しているか)試験点20%(限られた時間の中でどのように対応できるか)出席点30%。歌詞に合った表現ができていないか、一曲の中でのダイナミクスが的確に付けられるようになっているかなどをチェックします。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	プリプロダクションⅣ(B.Vocal)	山本英武

科目概要

秋学期ではオリジナル楽曲を作ります。3Qは曲を制作していく上でのコツや知識を学びながら、主に歌詞とメロディ、コード進行を完成させていきます。4Qではサウンド感やアレンジと一緒にディスカッションしながら考え、ボーカルを録音し、音源としてオリジナル楽曲を完成させます。

到達目標

最終的に一人で楽曲(歌詞、コード進行、メロディー)を完成出来るようになる。また自分に適した歌詞やメロディー、歌のレンジなどを理解する。音源完成までの流れを知り必要な事を理解する。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	曲のベース(基礎)作り	まずはコード進行、または歌詞、もしくはメロディー、いずれかの、きっかけとなるものを考えます。
第2回	曲のテーマを決める	曲の断片から、楽曲のテーマを決め、コードやメロディ、歌詞などの方向性を考えていきます。
第3回	曲のパートを作る	パートごとの長さや役割を考えながら、サビやAメロなど曲のパートを作ります。
第4回	1コーラスをまとめる	1コーラスにまとめてみます。それを聞いたうえで客観的に理解し修正点などを考えます。
第5回	歌詞とメロディ、コード進行をまとめる	より楽曲に対して適切になるようにコード進行や歌詞やメロディーなどを修正していきます。
第6回	オケの制作	リズムとコード楽器ひとつで簡単なカラオケを作ります。シンプルなオケは曲のテイストを、より明白にします。
第7回	オリジナル曲を録音する	完成した楽曲をワンコーラス、歌って録音していきます。シンプルな形でのデモ音源を完成させます。

クォーター末試験評価方法

平常点50%試験点20%出席点30%。コードやコード進行など曲作りに必要な音楽知識を理解した上で曲を1コーラス作れるようになっているか、また前向きに取り組んだかどうかを評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	歌詞やメロディーの追加や修正	フルコーラス(2番もしくは3番)用に歌詞、場合によってメロディーの追加、修正をします。
第2回	全体の構成を決める	イントロや間奏、サビをどこで何回にするかなど全体の構成を決めます。
第3回	サウンドの方向性	参考音源など聴きながら、サウンド、編曲の方向をディスカッションしながら一緒に考えます。
第4回	楽曲のアレンジ	DAWを使って楽曲のアレンジをします。生徒が演奏出来る場合はバックギグを録音します。
第5回	ボーカル録音(仮歌)	前回使ったオケに歌を録音します。客観的に聞いた上で、歌い方などの改善点や修正点を見直します。
第6回	ボーカル録音	前回の反省や修正点などを踏まえ本テイクの歌を録音しボーカルを完成させます。また必要に応じて修正します。
第7回	ミックスダウンとその方向性	歌とオケをなじませ音質など調整して音をまとめて行きます。ミックスダウンという作業を理解します。
第8回	音源完成	前回のミックスダウンで問題がなければ音圧を調整してマスタリングをします。オリジナル音源を完成させます。

学期末試験評価方法

平常点50%試験点20%出席点30%。音源制作に必要な音楽知識や流れを理解した上で曲をフルコーラスで1曲作れるようになっているか、またコミュニケーションも含め前向きに取り組んだかどうかを評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	コーラスワーク	石橋誠章

科目概要

歌唱力のスキルアップを図るためのヴォイストレーニングを行ないます。またコーラス曲を歌うことにより、音感・ハーモニー感覚・アンサンブル力を身に付けていきます。

1クォーターでは美しくハモるための基礎力を鍛えます。

2クォーターでは、ユニゾンボーカルから3声のハーモニーまで練習していきます。

到達目標

3声のコーラスが綺麗にハモれるようになること。

基本的な歌唱力が上がることで、コーラスも上達していきます。

自分の弱点を把握し、自分に合った効果的なトレーニング方法を覚えて習慣にしましょう。

結果はついてきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基本ヴォイストレーニング 1	ガイダンス。 ストレッチ、ブレス、発声、滑舌の基本トレーニング。
第2回	基本ヴォイストレーニング 2	ストレッチ、ブレス、発声(地声・裏声)。滑舌トレーニング。 課題曲の歌唱実習。
第3回	基本ヴォイストレーニング 3	ストレッチ、ブレス、発声(地声・裏声)。滑舌トレーニング。 課題曲の歌唱実習。
第4回	ハモってみよう 1	ストレッチ、ブレス、発声(地声・裏声)。滑舌トレーニング。 ハーモニー練習。課題曲の歌唱実習。
第5回	ハモってみよう 2	ストレッチ、ブレス、発声(地声・裏声)。滑舌トレーニング。 ハーモニー練習。課題曲の歌唱実習。
第6回	ハモってみよう 3	ストレッチ、ブレス、発声(地声・裏声)。滑舌トレーニング。 ハーモニー練習。課題曲の歌唱実習。
第7回	実技試験	ウォームアップ。 課題曲の歌唱試験。

クォーター末試験評価方法

試験30% 出席点50% 平常点20%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ユニゾンボーカル	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。ユニゾンボーカル練習。課題曲の歌唱実習。
第2回	2声のハーモニー 1	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。2声のコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第3回	2声のハーモニー 2	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。2声のコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第4回	2声のハーモニー 3	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。2声のコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第5回	3声のハーモニー 1	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。3声のコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第6回	3声のハーモニー 2	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。3声のコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第7回	3声のハーモニー 3	ストレッチ、ブレス、発声(声の響き・音域拡張)。 滑舌トレーニング。3声のコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第8回	実技試験	ウォームアップ。 課題曲の歌唱試験。

学期末試験評価方法

実際にトレーニングすることが大切な授業です。

よって授業への参加姿勢、上達度を重視します。

試験30% 出席点50% 平常点20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	コーラスワーク	石橋誠章

科目概要

基本的なヴォイストレーニングを行ない、またコーラス曲を歌うことにより、音感・ハーモニー感覚・アンサンブル力を身に付けていきます。

個性を存分に活かせる正しく効率的な発声法・発音法を身につけ、コーラスに生かしましょう。

到達目標

秋学期は、多種多様なジャンルへの対応力、表現力をつけることを目標にしていきます。正確なピッチ・リズムは勿論のこと、アーティキュレーションを揃えることを意識しましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロックスタイル 1	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 ロックスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第2回	ロックスタイル 2	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 ロックスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第3回	ロックスタイル 3	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 ロックスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第4回	R&Bスタイル 1	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 R&Bスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第5回	R&Bスタイル 2	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 R&Bスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第6回	R&Bスタイル 3	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 R&Bスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第7回	実技試験	ウォームアップ。 課題曲の歌唱試験。

クォーター末試験評価方法

試験30% 出席点50% 平常点20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズスタイル 1	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 ジャズスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第2回	ジャズスタイル 2	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 ジャズスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第3回	ジャズスタイル 3	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 ジャズスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第4回	16beatスタイル 1	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 16beatスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第5回	16beatスタイル 2	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 16beatスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第6回	16beatスタイル 3	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 16beatスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第7回	16beatスタイル 4	ストレッチ、ブレス、発声。滑舌トレーニング。 16beatスタイルのコーラス練習。課題曲の歌唱実習。
第8回	実技試験	ウォームアップ。 課題曲の歌唱試験。

学期末試験評価方法

実際にトレーニングすることが大切な授業です。

よって授業への参加姿勢、上達度を重視します。

試験30% 出席点50% 平常点20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	作詞Ⅲ	マチーデフ

科目概要

韻を効果的に用いた作詞法を身に付けます。
また、グループワークを行い共同作詞(コーライティング)のスキルを身に付けます。

到達目標

- ・押韻を主とした作詞法の習得。
- ・自分らしい言葉選び、ボキャブラリーの自覚。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己紹介、韻の発想	自己紹介。好きなアーティストのヒアリング。 3音の韻を考えてみます。
第2回	J-POPに潜む押韻	J-POP曲の中にある韻を探し、韻を踏む場合と踏まない場合 でどのような違いがあるかを考察。4音の韻を考えてみます。
第3回	J-POPに潜む押韻2	J-POP曲の中にある韻を探し、耳心地の良い押韻を考察。 5音の韻を考えてみます。
第4回	押韻テクニック(基礎)	ラップ曲の中にある韻を探し、様々な押韻の方法を学びます。
第5回	押韻テクニック(応用)	ラップ曲の中にある韻を探し、美しい韻の踏み方を考えます。
第6回	韻の発想力の強化	韻を使ったゲームを行い、韻の発想力を高めます。 長い音(文字数)で韻を踏んでみます。
第7回	韻の理解度を確認	韻についての筆記テストを行います。

クォーター末試験評価方法

試験方法: 筆記
評価項目: 授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	韻を意識した作詞法	韻を意識した作詞法を学びます。
第2回	韻を意識した作詞の実践	韻を意識して8小節の作詞を行います。
第3回	テーマに沿った作詞	テーマを設けて韻を意識しながら8小節の作詞を行います。
第4回	日常の出来事の歌詞化	自身の日記を歌詞化し、体言止めや倒置法を学びます。
第5回	日常の出来事の歌詞化2	様々な押韻テクニックを駆使して、他人の日記を歌詞化しま す。
第6回	共同作詞	押韻を意識して共同作詞を行います。
第7回	共同作詞2	韻を意識して共同作詞を行います。 個々の感性の違いを把握します。
第8回	ストーリー展開のある作詞	テーマを設けて韻を意識した16小節の作詞を行います。

学期末試験評価方法

試験方法: 作詞した歌詞の提出
評価項目: 授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	作詞Ⅳ	マチーデフ

科目概要

様々な角度から既存曲の歌詞を考察し、作詞の構成力を身に付けます。
また、作詞受注のシミュレーションを行い、クライアントのリクエストに応える作詞力を身に付けます。

到達目標

- ・作詞の構成力の向上
- ・歌詞の発想力の向上

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ストーリーの流れを重視した作詞	既存曲の替え歌作りに挑戦し、ストーリー展開を意識した作詞のトレーニングを行います。
第2回	ストーリーの流れを重視した作詞2	既存曲の替え歌作りに挑戦し、制約がある中での作詞トレーニングを行います。
第3回	韻を発想する力の強化	童謡の替え歌作りに挑戦し、韻を踏みながらストーリーを組み立てる力を身に付けます。
第4回	韻を発想する力の強化2	童謡の替え歌作りに挑戦し、韻の発想力を鍛えます。
第5回	歌詞を組み立てる力の強化	既存曲の歌詞を、ラップ調の歌詞にアレンジします。
第6回	歌詞を組み立てる力の強化2	既存曲の歌詞を、ラップ調の歌詞にアレンジし、様々な角度から歌詞を考察します。
第7回	感性、センスの違いの自覚	映像を見てインスピレーションを受けて作詞をします。自分らしい視点を認識、自覚します。

クォーター末試験評価方法

試験方法: 作詞した歌詞の提出

評価項目: 授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作詞受注シミュレーション	作詞受注シミュレーションを行います。
第2回	作詞受注シミュレーション2	作詞受注シミュレーションを行い、発注元の意図をいかに汲み取るかを学びます。
第3回	構成カトレーニング	構成が面白い歌詞を考察します。
第4回	構成カトレーニング2	構成が面白い歌詞をラップ詞にアレンジします。
第5回	イメージーションの拡大化	歌詞に出てくる登場人物の考察を行います。
第6回	イメージーションの拡大化2	既存曲のアンサーソングの作詞を行います。
第7回	作詞ビジネスについて	作詞ビジネスについての理解を深めます。
第8回	作詞ビジネスについて2	作詞ビジネスについての理解を深め、お金の流れやリクエストに応えるクリエイティビティの醍醐味を学びます。

学期末試験評価方法

試験方法: 作詞した歌詞の提出

評価項目: 授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	作詞Ⅲ (SSW)	轟 光太郎

科目概要
作詞が出来るというだけでは無く、そこに付随する作詞家の魅力や、商業的な手法も学び、作詞への造詣を深める。
到達目標
作詞の中に作家性、商業性を活かせるシンガーソングライター

授業計画		
1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作詞のセオリー	作詞の仕組みを復習
第2回	春の作詞①	春に付随するテーマの作詞
第3回	春の作詞②	CMなど、戦略的に使える作詞
第4回	作詞家研究①	著名な作詞家の作品を研究する
第5回	作詞家研究②	作詞家の手法を模倣して作詞してみる
第6回	模擬試験	試験テーマ発表～模擬試験
第7回	試験	作品提出
クォーター末試験評価方法		
出席率、取り組み姿勢、試験成果		
2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	1Q試験返却	復習
第2回	記憶に残る言葉	比喩の効果的な使い方
第3回	企業キャッチコピー①	企業キャッチコピー研究
第4回	企業キャッチコピー②	キャッチコピーを作ってみる
第5回	夏の作詞①	夏に付随するテーマの作詞
第6回	夏の作詞②	CMなど、戦略的に使える作詞
第7回	模擬試験	試験テーマ発表～模擬試験
第8回	試験	作品提出
学期末試験評価方法		
出席率、取り組み姿勢に加え、好奇心を持って取り組んでいるかどうかを評価します。		

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	作詞IV (SSW)	轟 光太郎

科目概要
1Q、2Qで学んだ知識を活かして、ミュージシャンとしての表現力の可能性を広げる。
到達目標
作詞の中に作家性、商業性を活かせるシンガーソングライター

授業計画		
3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	2Q試験返却	復習
第2回	秋の作詞①	秋に付随するテーマの作詞
第3回	秋の作詞②	CMなど、戦略的に使える作詞
第4回	作詞家研究①	著名な作詞家の作品を研究する
第5回	作詞家研究②	作詞家の手法を模倣して作詞してみる
第6回	模擬試験	試験テーマ発表～模擬試験
第7回	試験	作品提出
クォーター末試験評価方法		
出席率、取り組み姿勢、試験成果		
4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	3Q試験返却	復習
第2回	作詞家研究①	著名な作詞家の作品を研究する
第3回	作詞家研究②	作詞家の手法を模倣して作詞してみる
第4回	冬の作詞①	冬に付随するテーマの作詞
第5回	クリスマスのCMソング	クリスマスがテーマの楽曲研究
第6回	冬の作詞②	CMなど、戦略的に使える作詞
第7回	模擬試験	試験テーマ発表～模擬試験
第8回	試験	作品提出
学期末試験評価方法		
出席率、取り組み姿勢に加え、 学んだ知識を活かしての作詞の出来、成長が大きいほど評価します。		

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	ヴォイストレーニングⅢ(R&B・ゴスペル)	長沼 敬子

科目概要

正しい発声法を学びながら、スケール課題(ダンノーゼルのソルフェージュを使用)を視唱し、正確な音程とリズムを体得します。'60年代以降のR&B・ゴスペルを中心に洋楽を歌唱します。

到達目標

呼吸・姿勢・声帯の状態を上手くコントロールし、各学生の発声の課題を解決します。洋楽を学ぶことによって、曲の抑揚やBeatの表現法を身に付けます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	発声の基礎の再確認	各学生の発声での問題点を指摘し、練習法を指導します。
第2回	一度音程と全音符 課題曲の発表・選曲	ダンノーゼル No.10の視唱、教師が提示した数曲の課題曲を発表・試聴します。
第3回	一度音程と二分音符 課題曲を決定	ダンノーゼル No.11の視唱、各学生が課題曲の決定をします。
第4回	二度音程 課題曲を歌唱(1コーラス)	ダンノーゼル No.12の視唱、課題曲の歌唱を指導します。
第5回	三度音程 課題曲を歌唱(フルコーラス)	ダンノーゼル No.13の視唱、課題曲の音程・発声を主に指導します。
第6回	四度音程 課題曲の仕上げ	ダンノーゼル No.14の視唱、課題曲のリズム・抑揚を指導し、仕上げます。
第7回	ソルフェージュ視唱(まとめ) 課題曲の歌唱発表	ダンノーゼル No.10～14の視唱、課題曲の独唱発表をします。

クォーター末試験評価方法

「ダンノーゼルのソルフェージュ」No.10～14と、各学生の課題曲を独唱します(60%)。平常点(30%)と出席(30%)を併せ評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	五度音程 自由曲の選曲	ダンノーゼル No.15の視唱、各学生と自由曲の選曲をします。
第2回	六度音程 自由曲を決定	ダンノーゼル No.16の視唱、各学生の自由曲を決定します。
第3回	七度音程 自由曲の歌唱(1コーラス)	ダンノーゼル No.17の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(音程・発声)
第4回	八度音程 自由曲の歌唱(2コーラス)	ダンノーゼル No.18の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(リズム・グルーブ)
第5回	音程の要約 自由曲の歌唱(フルコーラス)	ダンノーゼル No.19の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(ダイナミクス・抑揚)
第6回	全音符と全休符の練習 自由曲の歌唱	ダンノーゼル No.20の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(細部のチェック)
第7回	二分音符と二分休符の練習 自由曲の仕上げ	ダンノーゼル No.21の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(まとめ)
第8回	ソルフェージュ視唱(まとめ) 自由曲の歌唱発表	ダンノーゼル No.15～21の視唱、自由曲の独唱発表をします。

学期末試験評価方法

「ダンノーゼルのソルフェージュ」No.15～21と、各学生の自由曲を独唱します(60%)。平常点(30%)と出席(30%)を併せ評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヴォイストレーニングⅣ(R&B・ゴスペル)	長沼 敬子

科目概要

ソルフェージュ課題から、より難易度の高い音程・リズムを正確に歌唱することを体得します。R&B・ゴスペルの合唱曲を用い、ヴォーカルアンサンブル面を強化します。

到達目標

合唱曲を学ぶことにより、各自の正確な音程の維持と、ハーモニーでのアンサンブルの表現を身に付けます。R&B・ゴスペルの楽曲で、16Beatのフレーズとフェイクの表現技法を身に付けます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	二分音符と二分休符 合唱曲の選曲	ダンノーゼル No.22の視唱、合唱曲の選曲をします(Joyful Joyful, Oh Happy Day 等)
第2回	二分音符と二分休符 各パートの決定	ダンノーゼル No.23の視唱、合唱曲を決定しパートを決めます。(三部合唱)
第3回	二分音符と二分休符 各パートの音取り(1コーラス)	ダンノーゼル No.24の視唱、合唱曲各パートの音取りをします。
第4回	二分音符と二分休符 各パートの音取り(フルコーラス)	ダンノーゼル No.25の視唱、合唱曲各パートの音取りをします。
第5回	全音符と二分音符の練習 各パートの確認と合唱	ダンノーゼル No.26の視唱、合唱曲各パートのチェックと合わせ(合唱)をします。
第6回	全音符と二分音符の練習 合唱	ダンノーゼル No.27の視唱、合唱曲を全員で合わせ、ダイナミックスや抑揚を指導します。
第7回	ソルフェージュ視唱(まとめ) 合唱(仕上げ)	ダンノーゼル No.22～27の視唱、合唱曲の各パートの独唱と合唱の発表をします。

クォーター末試験評価方法

「ダンノーゼルのソルフェージュ」No.22～27の独唱と、合唱曲の各パート独唱と全員合唱をします(60%)。平常点(30%)と出席(30%)を併せ評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	全音符と二分音符 自由曲の選曲	ダンノーゼル No.28の視唱、各学生と自由曲の選曲をします。
第2回	全音符と二分音符 自由曲を決定	ダンノーゼル No.29の視唱、各学生の自由曲を決定します。
第3回	四分音符と四分休符 自由曲の歌唱(1コーラス)	ダンノーゼル No.30の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(音程・発音)
第4回	四分音符と四分休符 自由曲の歌唱(2コーラス)	ダンノーゼル No.31の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(リズム・グルーブ)
第5回	四分音符と四分休符 自由曲の歌唱(フルコーラス)	ダンノーゼル No.32の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(ダイナミックス・抑揚)
第6回	四分音符と四分休符 自由曲の歌唱	ダンノーゼル No.33の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(細部のチェック)
第7回	四分音符と四分休符 自由曲の仕上げ	ダンノーゼル No.34の視唱、自由曲の歌唱指導をします。(まとめ)
第8回	ソルフェージュ視唱(まとめ) 自由曲の歌唱発表	ダンノーゼル No.28～34の視唱、自由曲の独唱発表をします。

学期末試験評価方法

「ダンノーゼルのソルフェージュ」No.28～34と、各学生の自由曲を独唱します(60%)。平常点(30%)と出席(30%)を併せ評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	ヴォイストレーニングⅢ(ラップ&DJ)	マチーデフ

科目概要

ラップのリズムを体系的に分類し、発声、歌唱することでリズムを捉える感覚を磨きます。最初は簡単な譜割りの曲で基礎を学び、徐々に難しい譜割りの曲へとレベルアップしていきます。

到達目標

- ・ラップの歌唱力向上
- ・リズム感の向上

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己紹介、歌とラップの違い	自己紹介をします。歌とラップの違いについて学びます。
第2回	リズムの種類	ラップで使われるリズムの種類を学びます。
第3回	ウラ拍を捉えるリズムトレーニング	短いフレーズを使い、ウラ拍を捉えるリズムトレーニングを行います。
第4回	ウラ拍を捉えるリズムトレーニング2	既存曲の拍アタマを意識して、ウラ拍の譜割りを考察します。
第5回	3連符のリズムトレーニング	リズムゲームで3連符のリズムを体感します。
第6回	6連符のリズムトレーニング	リズムゲームで6連符のリズムを体感します。
第7回	16分刻みのリズム	オモテ拍、ウラ拍、16分ウラを捉えるリズム感を養います。

クォーター末試験評価方法

試験方法:実技

評価項目:授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	2人でかけ合いラップ	2人でかけ合いラップを行い、リズムキープ力を養います。
第2回	2人でかけ合いラップ2	かけ合いラップを通して、歌い出しのアタック感を養います。
第3回	3人でかけ合いラップ	1拍~2拍づつの細かいかけ合いラップを行い、複数人でグルーブを作っていく力を養います。
第4回	3人でかけ合いラップ2	様々なトラックでかけ合いラップを行い、ビートを捉える力を磨きます。
第5回	母音を省略するラップ	母音を省略した疾走感のあるラップを習得します。
第6回	母音を省略するラップ2	母音を省略したりしなかったり、よりテクニカルなラップを習得します。
第7回	倍速ラップ	32分刻みの譜割りでビートキープ力を養います。
第8回	倍速ラップ2	定速と倍速を行き来する、よりテクニカルなラップを習得します。

学期末試験評価方法

試験方法:実技

評価項目:授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	ヴォイストレーニングⅣ(ラップ & DJ)	マチーデフ

科目概要

譜割りの複雑なラップ曲に挑戦し、よりテクニカルな歌唱力を身に付けます。
また、DJ体験やオリジナルラップの制作も行います。

到達目標

- ・ラップの歌唱力向上
- ・リズム感の向上

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	無声音を使ったラップ	有声音と無声音を使い分け、よりグルーヴィーな歌唱テクニックを身に付けます。
第2回	特徴的な発音のラップ	日本語の発音を変形させ、耳に残るラップを身に付けます。
第3回	アクセントの強弱が重要なラップ	アクセントを意識して抑揚の付け方を学びます。
第4回	アクセントの強弱が重要なラップ2	ウラ拍にアクセントを置くことで、よりトリッキーな歌い方を習得します。
第5回	メロディーのあるラップ	キーを意識したラップを習得します。
第6回	メロディーのあるラップ2	メロディーありのラップとメロディーなしのラップを行き来することで、よりテクニカルなスキルを身に付けます。
第7回	メロディーのあるラップ3	メロディーのあるラップを歌う際の感情の込め方を学びます。

クォーター末試験評価方法

試験方法: 実技

評価項目: 授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	テクニカルなラップ	これまでに学んできた様々なスキルを駆使し、難易度の高いラップに挑戦します。
第2回	テクニカルなラップ2	ビートの上でいかに遊べるか、自分なりの歌い方を模索していきます。
第3回	テクニカルなラップ3	様々なタイプのビートで同一のラップ曲を歌い、ビートアプローチ力を養います。
第4回	DJ体験	アナログターンテーブルを使ったDJ体験を通して、HIPHOPカルチャーの始まりとその精神を学びます。
第5回	韻の踏み方	韻の踏み方、韻の発想法を習得します。
第6回	韻の踏み方2	ラップ曲の歌詞を考察し、様々な韻の踏み方を学びます。
第7回	オリジナルラップの作詞	押韻を意識した作詞法を学びます。
第8回	オリジナルラップの披露	これまでに学んだことを活かし、オリジナルラップを披露してもらいます。

学期末試験評価方法

試験方法: 実技

評価項目: 授業の出席率70% 授業で教えた事の習熟度10% 試験結果20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	楽器トレーニングⅢ(Gt)	稲葉 智

科目概要

シンガーソングライターとしてギターを弾きながら歌う事を前提としたギタープレイ、テクニックについて学びます。基本的な構え、フィンガーリングフォームとピッキングフォームを一から学んでゆき、様々なジャンルやリズムにおける伴奏スタイルを学習します。

到達目標

楽曲のクオリティーをより高めるためのオブリガートやソロ、アドリブ等も理論に基づいたコード、スケールに関連付けながら学び、最終的に各自のオリジナルに活かせるよう学習します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	基本フォームとチューニング	演奏の基本姿勢と両腕両手のフォームを確認、ハーモックスを使ったチューニングを学習します。耳でのチューニングをマスターする。
第2回	3コードとペンタニック	3コードでのバックイングとペンタニックを使ったソロを学びます。
第3回	テクニック1	ペンタニックでのソロにおいてのビブラート、ペンディング、スライド等のテクニックを学びます。
第4回	コードと分散和音	コードトーンを分解してアドリブのフレーズやオブリガートに活かすことを学びます。
第5回	ダイアトニックコードとアルペジオ	4ノーツコードについて機能を中心に学びます。同時にアルペジオでの演奏を学びます。
第6回	ダイアトニックスケール	ダイアトニックコードに対してのスケールを学びます。
第7回	実技試験	課題曲の演奏をします。各自の修得度をチェックします。

クォーター末試験評価方法

試験は実技試験とします。平常点(修得度20%、履修態度20%、小テスト10%)50%、出席点20%、試験点30%として評価します。各学生ごとに演奏能力の伸び具合を評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードフォーム	楽曲の中でのいろいろなコードのバリエーションを学びます。
第2回	テンションコード	楽曲を通じてナチュラルテンションコードについて学びます。
第3回	セカンダリードミナント1	セカンダリードミナントコードとそのスケールについて学びます。
第4回	セカンダリードミナント2	セカンダリードミナントが使われている楽曲を演奏します。
第5回	16ビートのリズム	16ビートを中心とした楽曲のバックイングのテクニックを学びます。
第6回	サブドミナントマイナー	サブドミナントマイナーコードとそのスケールについて学びます。
第7回	正確なリズムとハーモニー	グループのある演奏と確かなハーモニーについて学びます。
第8回	実技試験	課題曲を演奏します。各自の修得度をチェックします。

学期末試験評価方法

試験は実技試験とします。平常点(修得度20%、履修態度20%、小テスト10%)50%、出席点20%、試験点30%として評価します。各学生ごとに演奏能力の伸び具合を評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	楽器トレーニングⅣ(Gt)	稲葉 智

科目概要

シンガーソングライターとしてギターを弾きながら歌う事を前提としたギタープレイ、テクニックについて学びます。春学期に学んだテクニックをさらに深く学習し、様々なジャンルやリズムにおける伴奏スタイルを学習します。

到達目標

楽曲のクオリティーをより高めるためのオブリガートやソロ、アドリブ等も理論に基づいたコード、スケールに関連付けながら学び。最終的に各自のオリジナルに活かせるよう学習します。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ロックのバックイングとソロ	ロックスタイルでのバックイングおよびソロについて学びます。
第2回	弾き語り、ポップスのバックイングとソロ	メジャースケール系の楽曲のバックイングおよびソロについて学びます。各ポジションでのフィンガーリングをマスターします。
第3回	ドミナントコードとスケール	ドミナントコードとそのスケール(ミクソリディアン、HP5↓ALT)について学びます。
第4回	スィング1	ドミナントコード(ⅡⅤ)が多く含まれるジャジーなスィングしたリズムの曲を演奏します。スィングとスケールをマスターします。
第5回	スィング2	楽曲についてアナライズを含めリズム、スケール、フィーリングの面で学習します。
第6回	16ビート	16ビートの曲でのバックイングとソロを総合的に学びます。またアナライズについても学びます。
第7回	実技試験	課題曲を演奏します。各自の修得度をチェックします。

クォーター末試験評価方法

試験は実技試験とします。平常点(修得度20%、履修態度20%、小テスト10%)50%、出席点20%、試験点30%として評価します。各学生ごとに演奏能力の伸び具合を評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アルペジオのバックイング1	8ビートを中心とした指を使ったアルペジオ奏法を学びます。
第2回	アルペジオのバックイング2	12/8、16ビートを中心とした指を使ったアルペジオ奏法を学びます。
第3回	分数コードを使った楽曲	分数コードを使った曲を演奏しとその機能、解釈を学びます。
第4回	テンションコード	ナチュラル、オルタードテンションの加えられたコードのフォームとスケールについて学びます。
第5回	Bossa Nova	ボサノバに代表されるような右手の指を使ったバックイングを学びます。
第6回	様々なジャンルの楽曲	各ジャンルでのバックイングとソロを学びます。また、そのアナライズについても学びます。
第7回	総合演奏	最終的なテクニックの確認をします。楽曲の理解を深めオリジナル演奏をします。
第8回	実技試験	課題曲を演奏します。各自の修得度をチェックします。

学期末試験評価方法

試験は実技試験とします。平常点(修得度20%、履修態度20%、小テスト10%)50%、出席点20%、試験点30%として評価します。各学生ごとに演奏能力の伸び具合を評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	楽器トレーニングⅢ (キーボード)	松永加津子

科目概要

基礎のスケールは右手と左手のスピードを変えて弾く練習になります。課題曲の譜面は、メロディーとコードだけ書いてある一段譜、コードとメロディーだけを見て弾けるようになるのが2年次での課題です。

到達目標

春楽器の課題はラテンです。前半はチャチャやマンボ、後半はボサノバやサンバのリズムを弾きます。両手ユニゾンにもチャレンジ、リズムのノリをしっかりと身につけていくのが目標です。もちろんどんどんアドリブにもチャレンジしていきますよ。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	メジャースケールの弾き方を覚える。	右手左手のスピードを変えての弾き方を覚える。ラテンの曲。
第2回	チャチャ ①	毎回違ったラテンの曲をどんどん弾きます。
第3回	チャチャ ②	ゆっくりの曲、速い曲の弾き方を考えてみましょう。
第4回	マンボ ①	ユニゾン演奏、意外と左手が難しくなります。
第5回	マンボ ②	できる方は、2オクターブユニゾンにチャレンジしましょう。
第6回	マンボ ③	余裕ができたなら、掛け声も出してみましょう。
第7回	授業課題の好きな曲を弾く	楽しくなって弾くこと。

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。普段の取り組みがしっかりしていれば、自然に、その人なりに弾けるようになるはず、のびのびと楽しんで弾くこと。チェックのポイントは、メロディーのリズムの取り方です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	サンバのリズム ①	2分の2のリズムにしっかり乗って演奏します。コードはシンプルに押さえます。
第2回	サンバのリズム ②	慣れてきたら、メロディーに合わせてコードも動くように弾きます。
第3回	サンバのリズム ③	アドリブ練習。とにかくリズムを楽しんで弾きましょう。
第4回	ボサノヴァのリズム ①	基本は8ビートです。コードも少し難しくなるので、出来るだけシンプルに、ゆったり押さえます。
第5回	ボサノヴァのリズム ②	慣れてきたら、メロディーの合間にコードを入れて弾いてみましょう。
第6回	ボサノヴァのリズム ③	アドリブ練習。右手と左手が、会話するように弾いてみましょう。
第7回	試験課題曲 練習	課題曲を練習、何度も繰り返して、コツをつかみましょう。
第8回	テーマとアドリブとリズム	テーマをしっかりと、コードはシンプルに、リズムもゆったりと弾きましょう。アドリブにもチャレンジ。

学期末試験評価方法

テーマ・アドリブ・テーマの構成で、メリハリをつけて演奏しましょう。タッチがしっかりしているか、ビートによって演奏しているかをチェックします。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	楽器トレーニングⅣ（キーボード）	松永加津子

科目概要

イントロ・テーマ・アドリブ・エンディングをキーボードでリードしていく演奏を目指します。ビートのとらえ方を工夫して、一曲を完成させていく弾き方を学習しましょう。また、基礎力をつけるため、ジャズのスタンダードナンバーにもチャレンジします。

到達目標

おいしいイントロを演奏するためにはどう考えるか、また、エンディングをキーボードでリードしていくためにはどうすればいいか、少し理論も勉強します。課題曲はますますチャレンジングになります。2年次も、季節のスタンダードなクリスマスソングを楽しんで弾きましょう。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ブルースのいろいろ ①	いろいろなブルースを弾いてみましょう。まずは、ミディアムテンポで。
第2回	ブルースのいろいろ ②	ゆったりとしたブルージーなブルース、ソロピアノで弾けるとかっこいいですね。
第3回	ジャズスタンダードナンバー ①	コードをしっかり弾くことが基本です。まず、左手でしっかり押さえる練習をします。
第4回	ジャズスタンダードナンバー ②	テーマのメロディーの弾き方を考えます。メロディーやリズムをフェイクして、かっこよく弾きましょう。
第5回	ジャズスタンダードナンバー ③	アドリブにチャレンジ。使う音も大事ですが、リズムがとても重要になってきます。
第6回	試験課題曲 練習	何度でも繰り返して練習しましょう。かっこいいアドリブも！
第7回	スタンダードナンバーの弾き方で。	テーマやアドリブ、自分の個性を大切に弾いてください。

クォーター末試験評価方法

テーマをしっかり弾いて、アドリブにもどんどんチャレンジ。使っている音、かっこいいスケールなど、毎回の練習で得たものを一つでも演奏できたらベリーグッドです！

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クリスマスソング ①	クリスマススタンダードナンバーを弾きます。
第2回	クリスマスソング ②	クリスマススタンダードナンバーを伴奏するための弾き方を考えます。
第3回	クリスマスソング ③	クリスマスソングをソロピアノで弾きます。
第4回	マイナーキーのスタンダードナンバー	簡単なマイナーキーのスタンダードナンバーを、メロディーとコードをしっかり弾きます。
第5回	マイナーキーの～ ②	64小節の曲にチャレンジ。まずテーマをしっかり弾く練習をします。
第6回	マイナーキーの～ ③	上記の曲、アドリブ部分を練習、テーマとは違うコード進行になる場所にも注意しましょう。
第7回	試験課題曲 練習	とにかく練習、何度でも弾くことで、少しずつでも前進していきましょう。
第8回	エンディングまでしっかり演奏	弾き方や音色、ダイナミクスも表現してください。

学期末試験評価方法

かなり難しい曲に取り組んできました。日頃の成果を発揮して、まずはとにかくテーマをしっかり、そしてアドリブにも楽しんでチャレンジしたかを評価していきます。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	ダンス&ヴォーカルトレーニングⅢ	青井智佳子

科目概要

自己の表現としての手段としてのダンスの考え方を学び、音楽に繋げて行きます。課題曲の時代背景や、その時代に使われていた、流行ったステップなど、歴史的なことも学んで行きます。

到達目標

自分の引き出しに保存されているネタから自分で様々に引き出してきて自由に踊れる、音楽に乗れる様にして行くことを目標にします。感情を動きで表現(表情なども含め)出来る事も目標の1つになって行きます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンス	授業を受けるうえでの決まり事を含め、説明を行います。もちろん初回から体を動かして行きます。
第2回	ダンスのステップ	課題曲をよく聴きこみます。そこから感じる自分のイメージをしっかりと決めてもらいます。
第3回	ステップで乗る	自分のイメージを発表してもらい、フィードバックされたものを研究してもらいます。
第4回	ダンス	振付を進めます。
第5回	ダンスの確認	今までついた振付をおさらいしながら、更に振付が進みます。
第6回	ダンスを人に見せるということ	お客様に自分がどう見たいか、どう見えているのか、の両方を吟味していきます。
第7回	テスト	ダンスの実技テストです。

クォーター末試験評価方法

自己表現の追究の姿勢を評価します。自分の持っているものを自覚できているか、それを表に出すことが出来るかを評価します。欠席、遅刻、見学などによる減点もありますので気を付けてください。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ダンス	今までのおさらいをし、その後、振付をし、踊って行きます。
第2回	ダンスの正確さ	ポージングを中心に、身体をどのように使うか、姿勢などのポイントを話して行きます。
第3回	ポージングで踊る	ポージングが決まると、それをただ繋げただけでもはやダンスになるということを話して行きます。
第4回	アイソレーションで踊る	アイソレーションを使って音楽に乗ることを行っていきます。
第5回	ステップの応用	音楽のジャンルに合わせて、その背景に合う、使いやすいものを選んでいきます。
第6回	ダンスの振り付け	毎回少しずつ進む振付の押さえてほしいポイントの説明をして行きます。
第7回	ダンスの振り固め	テスト範囲のダンスをたくさん練習します。
第8回	テスト	ダンスの実技テストです。一人ずつ行います。

学期末試験評価方法

欠席、遅刻、見学による減点、皆勤の場合は点数を加えます。ダンスの正確さ、アイソレーションやリズム取りの正確さ、またダンスのフィーリングの良さ、自己表現の完成度などが、評価されます。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	ダンス&ヴォーカルトレーニングⅣ	青井智佳子

科目概要

ステージでこうありたいと思う自分のイメージに近づけていく事を行っていきます。自己表現の手段としてもダンスを使っていく事を学びます。

到達目標

基本的にはグルーブ感を出せることを目標にしますが、リズムにとらわれず、自分の内面を自分が伝えたい通りに表に出せるようになることもまた大きな目標にします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己表現について	喜怒哀楽を考えていきます。自分なりの表現を考えてもらいます。
第2回	自己表現してみる	自分のイメージを持ち、それを表に出す事をしていきます。
第3回	ダンスについて	リズムを重視する部分とその中に自己表現を入れたものを自分で見比べてもらいます。
第4回	ダンス	グルーブ感をダンスにあたり、自分がどうありたいのかを見つめ、それを発表してもらいます。
第5回	ダンスの振り付け	今までやってきたステップの応用に入ります。
第6回	ダンスの振り付け(確認)	ステップを使ったダンスの振り付けを進めます。グループに分かれてお互いの良いところを見つけ情報共有します。
第7回	テスト	ダンスの実技です。

クォーター末試験評価方法

振りの正確さ、踊り方、リズム、リラックスできているかどうかをよく見ます。欠席、遅刻、見学、授業態度による減点がありますので注意してください。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	自己表現	自己表現の手段としてのダンスを歌と繋げて行きます。
第2回	自己表現(喜怒哀楽)	喜怒哀楽を身体で表すとどうなるか、ディスカッションを含めながら更に講義していきます。
第3回	表現の多様性	一定の縛りの中で、表現してもらいます。リズムを崩さず自分の表現を取り入れる練習に入ります。
第4回	ダンス	ダンスの振り付けに入ります。自分でステップを考えて音楽に乗る練習もしていきます。
第5回	振付の確認	前回のおさらいをしながら更に振付を進めます。
第6回	アイソレーションの応用	前回までの振り付けを踊り、それがもっとダンスに見えてくるにはどうしたらよいかを説明して行きます。
第7回	ダンスの固め	テスト範囲を何度も練習し、見せ方を研究してもらいます。
第8回	テスト	一人ずつの実技です。

学期末試験評価方法

今後の自分のパフォーマンスへの生かし方をきちんと考えることが出来たか、授業で口頭で話しているポイントを注意深く聞いているかどうかをよく見ます。振りの正確さと同じくらい、フィーリングの良さも評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	テクニカルトレーニング I (Gt)	宮川章彦

科目概要

1年時のベーシックテクニックに続いて更なるテクニック、基本技術を向上させます。テクニックと音楽性が結びつくように様々なバリエーションを持った楽曲を学びます

到達目標

より高度な楽曲への対応、さまざまなジャンルへの理解
クラシック、フュージョン、ソウル、カントリー、ボサノバ、ジャズなど

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ピッキングとフィンガリングの確認	右手左手の確認、デイリートレーニングのバリエーション フォーム確認
第2回	クラシカルアルペジオ	課題曲 ビラロボス、エチュードNo2をピック弾きで 正確なオルタネイトピッキング
第3回	フュージョンギターテクニック1	課題曲 ルーム335楽曲アナライズ&バックギ
第4回	フュージョンギターテクニック2	課題曲 ルーム335 ソロテクニック スケール把握
第5回	ソウルバックギワーク	課題曲 ホワッツゴーイングオン コード&フィルイン
第6回	ドリアンスケールとモード	課題曲 ソーホワット ドリアンスケールモード ドリアンスケールとm7コード
第7回	中間試験 課題曲 バッキング&ソロ	課題曲 ルーム335バックギ&ソロ 楽曲把握

クォーター末試験評価方法

右手、左手のフォーム、テクニックとともに楽曲への対応、(アナライズ、リズムフィール等)を総合的に見ます

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ミクソリディアンスケールと7thコード	課題曲 ザ チキン 7thコードへの対応 アナライズ&ソロ
第2回	フュージョンギターテクニック、 ファンク1	課題曲 ジャスト ファンキー 右手ストロークテクニック 16ビートストロークのバリエーション
第3回	フュージョンギターテクニック、 ファンク2	課題曲 ジャスト ファンキー コードブレイシングテクニック テンションとブレイシングの理解
第4回	カントリー フィンガーピッキング	フィンガーピッキングテクニック 右手の動き
第5回	カントリー ソロワーク	カントリーリック練習 カントリーフィール
第6回	ボサノバ、バックギ	課題曲 ウェーブ ボサパターンバックギ 右手の動き
第7回	ボサノバ、ソロワーク	課題曲 ウェーブ アナライズとソロ コード進行の理解
第8回	期末試験 ボサノバ	課題曲 ウェーブ ボサノバパターンバックギ&ソロ ボサフィール&右手

学期末試験評価方法

入学時からの個人別のテクニック向上を評価します。課題は右手、左手のフォーム、テクニックとともに楽曲への対応、(アナライズ、リズムフィール等)です。出席、授業への意欲、毎回の小テスト的な演奏も重視します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	テクニカルトレーニングⅡ(Gt)	宮川章彦

科目概要

1年時のベーシックテクニックに続いて更なるテクニック、基本技術を向上させます。テクニックと音楽性が結びつくように様々なバリエーションを持った楽曲を学びます。

到達目標

さらなるテクニックの取得、複雑なコード進行への対応
アナライズしてコードへのスケールの対応力を強化します
より細かいリズム、ジャンルのフィーリングの取得

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズ、スウィングスタイル、コードワーク	Jazz ブルース、ウォーキングライン&コード Bassラインを作るか
第2回	ジャズ、スウィングスタイル、ソロワーク	Jazz ブルース、ソロ、アプローチノート 多彩なアプローチノート
第3回	フュージョンギタースタイル、シャッフル1	課題曲 レベレーション、アナライズ&コードワーク 分数コードとブォイシング
第4回	フュージョンギタースタイル、シャッフル2	課題曲 レベレーション、メロディ&ソロ 細かな3連フィーリング
第5回	フュージョンギタースタイル、サンバ	課題曲 スペイン、コード、メロディ、ソロ より細かな16分フィーリング
第6回	ボサノバ、サンバ、パルチードアルト	課題曲 ブルックリンハイ、パルチードアルト右手バックギングパターン 高速な右手バックギングパターン
第7回	中間試験 パルチードアルト	課題曲 ブルックリンハイ、パルチードアルト 右手テクニック リズムの理解

クォーター末試験評価方法

右手、左手のフォーム、テクニックとともに楽曲への対応、(アナライズ、リズムフィーリング等)を総合的に見ます

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	クラシックギタースタイル、アルペジオ	課題曲 ビラロボス、エチュードNo1 フィンガーアルペジオ 右手の動き
第2回	クラシックギタースタイル、ソロギター	課題曲 そのあくる日 ソロギターワーク メロディとコードのバランス、流れ
第3回	スウィープ、エコノミーピッキングエクササイズ	高度な右手ピッキング練習(モンスターリック等) もう一つのピッキングスタイル
第4回	ジャズ、ビバップスタイル1	課題曲 ドナリー、コードアナライズ、メロディー研究 ビバップスタイルの理解
第5回	ジャズ、ビバップスタイル2	課題曲 ドナリー、バップフレーズ&ソロ ビバップスタイルの理解
第6回	ジャズ、複雑なコード進行1	課題曲 インビテーション、アナライズ&コードワーク コード進行の理解
第7回	ジャズ、複雑なコード進行2	課題曲 インビテーション、メロディ&ソロ ソロのコードへの対応
第8回	期末試験 ジャズ	課題曲 ドナリーorインビテーション コードへの対応力

学期末試験評価方法

入学時からの個人別のテクニック向上を評価します。課題は右手、左手のフォーム、テクニックとともに楽曲への対応、(アナライズ、リズムフィーリング等)です。出席、授業への意欲、毎回の小テスト的な演奏も重視します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	テクニカルトレーニング I (Bs, Drs)	三枝俊治/伊藤大助

科目概要

様々な音楽スタイルを演奏する事により、プロフェッショナルのミュージシャン、または上級アマチュアプレイヤーとして必要な技術、リズム感、知識を得るための授業です。毎回の初見演奏とメトロノームを使ったリズムトレーニングを行います。

到達目標

読譜能力の向上と、様々な音楽スタイルに対応できるようにする事が目標です。バンドを組んで演奏する時、作曲者やアレンジャーの要求に応え、自分達でヘッドアレンジする時には自由で幅広い発想ができるようにトレーニングしていきます。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	シャッフルの演奏	Be-Bop-A-Lula を題材に、気持ちの良いシャッフルのグルーブが演奏できるように練習します。
第2回	一般的ではないパターンの演奏	Come Together を題材に、手癖や一般的なパターンから離れて音楽を表現する練習をします。
第3回	レゲエの演奏	Master Blaster (Jammin') を題材に、ポップスの中でのレゲエスタイルの演奏を練習します。
第4回	5拍子の演奏	Seven Days を題材に、5拍子のリズムに慣れ、安定したグルーブを生み出せるよう練習します。
第5回	一般的ではないパターンの演奏2	Late In The Evening を題材に、スティーブガッドのドラムパターンとアンソニージャクソンの正確なサブディヴァイドを研究します。
第6回	ハーフタイムシャッフル	Nothing You Can Do About It を題材に、シャッフルのリズムの正確なサブディヴァイドを練習します。
第7回	16分の正確なサブディヴァイド(試験)	Sparkle を題材に、Popsにおける正確なリズムのサブディヴァイドを身に付けているか確認します。

クォーター末試験評価方法

自分の演奏だけでなく、ドラムとベースのコンビネーションをきちんと意識して演奏しているかどうかを採点します。良いグルーブの為、他者を意識する事が出来ているかが重要です。出席を重要視します。遅刻一回マイナス1点。欠席一回マイナス3点です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ディスコビートの演奏	Le Freak を題材に、正確なビートとリズムの演奏を練習します。サブディヴァイドが意識されているか確認します。
第2回	一般的ではないパターンの演奏3	生まれた街で を題材に、自由な発想で作られたドラムとベースのコンビネーションを学び、演奏します。
第3回	変拍子の演奏	Five-Four を題材に、5拍目にアクセントのある5拍子と、6拍子の混ざるリズムを演奏します。
第4回	ポップスのサンバの演奏	Shaker Song を題材に、サンバ風ポップスソングの正確なサブディヴァイドの演奏を練習します。
第5回	8ビートの16分音符の演奏	Raise を題材に、ビートは8ビートでも速い16分音符を使ったスピード感溢れる演奏を練習します。
第6回	16分音符の5つ割りの演奏	Fawlty Tenors を題材に、16分音符を5つずつ区切ってビートとずれていくフレーズの練習をします。
第7回	16分音符の6つ割りの演奏	Contusion を題材に、変拍子と変則リズムの組み合わせの演奏を練習します。
第8回	変拍子/変則リズムの演奏(試験)	Contusion を題材に、変拍子と変則リズムの混じった曲の演奏能力をテストします。

学期末試験評価方法

ルーズなグルーブから正確なサブディヴァイドが必要なリズムまで演奏し分ける技術がどこまで身についているかを評価します。成績は演奏結果40%、1クォーターの成績40%、平常点20%で評価します。出席を重視するので、遅刻一回マイナス1点、欠席一回マイナス3点を算入します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	テクニカルトレーニング II (Bs, Drs)	三枝俊治/伊藤大助

科目概要

より高度な技術とリズム感、集中力を必要とする曲に挑戦します。また、音楽的表現力がレベルアップできるように指導します。難易度の高い曲は2週にわたって取り組むこともあります。卒業後の自己鍛錬が続けられるような練習方法も指導します。

到達目標

バリエーションに富んだ曲に挑戦する事により、バンドの中で演奏する時に必要な技術を身に付け、自由で新しいバンドアレンジのアイデアの源泉としていくことが目標です。技術と知識がより自由な音楽表現を助けてくれる事を実感してもらいたいと思います。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	跳ねるリズム/跳ねないリズムのチェンジ	Yer Blues を題材に、同じビートで跳ねるリズムと跳ねないリズムの間をスムーズに移行する練習をします。
第2回	3拍子の演奏	Don't Give Up を題材に、3拍子の曲の6拍子的な解釈と2拍3連を交えた音楽的に自由な表現を練習します。
第3回	16分の正確なサブディヴァイド2	Shoppin' 'Round Again を題材に、16ビートの正確なサブディヴァイドに則った演奏ができるよう練習します。
第4回	フュージョンのユニゾンフレーズとサンバ	Spain を題材に、難易度の高いユニゾンフレーズの練習と、ブラジリアンとは違うフュージョンのサンバの演奏を練習します。
第5回	ラテン/スウィングのリズムのチェンジ	Nica's Dream を題材に、ラテンのリズムとスウィングのリズムのチェンジをスムーズに行う練習をします。
第6回	ソングとセクション毎の変化の表現	Songo Bop を題材に、ソングのリズム、フュージョン的なリズムのキメ、セクション毎の変化を表現する練習をします。
第7回	ソング、正確なサブディヴァイド(試験)	Songo Bop を題材に、ソング、正確なサブディヴァイド、セクション毎の変化の演奏力をテストします。

クォーター末試験評価方法

リズムのサブディヴァイドの感覚を身に付けている事が大切です。それに基づいたリズムやビートのチェンジ、セクション毎の違いが表現できているかどうかを採点します。出席を重要視します。遅刻一回マイナス1点。欠席一回マイナス3点です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	グルーヴする16ビートの演奏	Space Cowboy を題材に、16ビートをいかにグルーヴさせるかを練習します。
第2回	16フィールの混じる8ビートの演奏	Show を題材に、16ビートのフィーリングの混ざる8ビートの感覚と、ドラムとベースの組み合わせパターンを練習します。
第3回	16分の正確なサブディヴァイド3	Colibri を題材に、16分音符の正確なサブディヴァイドとグルーヴをドラムとベースのコンビで作る練習をします。
第4回	16フィールの混じる8ビートの演奏2	Josie を題材に、16ビートのフィーリングの混ざる8ビートをいかにグルーヴさせるかを練習します。
第5回	12/8シャッフルとトリッキーなリズムの演奏	Minute By Minute を題材に、12/8拍子のゆったりとしたシャッフルとトリッキーなリズムアレンジを練習します。
第6回	パルチドアルトの演奏	Partido Alto を題材に、パルチドアルトのリズムに慣れ、グルーブさせる練習をします。
第7回	フュージョンの演奏	Unicorn を題材に、難易度の高いフュージョンの曲を2週間かけて練習し、仕上げていきます。
第8回	フュージョンの演奏(試験)	Unicorn を題材に、正確な16分音符をグルーヴさせる演奏に取り組み、テストします。

学期末試験評価方法

1年間の演奏力の進歩、読譜力、リズム感の進歩等総合的に採点します。成績は演奏結果40%、3クォーターの成績40%、平常点20%で評価します。出席を重視するので、遅刻一回マイナス1点、欠席一回マイナス3点を算入します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション III (Gt)	加藤直紀

科目概要

様々な仕掛けのあるコード進行、楽曲を使って、そのコードプログレッションを理解し、その中でどのようなアプローチでアドリブ、インプロヴィゼーションができるかを学び、また実践していきます。まずはギタリストに必要な指板上のシステムを徹底的に理解していきます。

到達目標

メジャースケールのダイアトニックコードでの基本的な5ポジション上で、スケールダイアグラムをしっかりと見えるようにし、それぞれの場所でアドリブができるようになること、またモード的な手法でのアドリブができるようになることが主な目標です。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	1年次の復習	1年次に学んだ基礎的なこと(理論やテクニック等)が理解できているかの確認をします。
第2回	C Major Etude	「C Major Etude」でメジャースケールを使ったアドリブを学んでいきます。またコードフォームの確認も同時に行います。
第3回	A Minor Etude	「A Minor Etude」でナチュラルマイナースケールを使ったアドリブ、またマイナーキーでのドミナントの解決の仕方を学んでいきます。
第4回	Blues	一般的なブルース進行でのアドリブ、メジャーペンタ、マイナーペンタの使い方、よく使うフレーズ等を学びます。
第5回	A7 Etude	「A7 Etude」でミクソリディアンを使ったアドリブ、またミクソリディアンでのバックキンの作り方等を学んでいきます。
第6回	C Dorian Etude	「C Dorian Etude」でドリアンを使ったアドリブ、またドリアンでのバックキンの作り方等を学んでいきます。
第7回	試験	課題曲でのバックキンのアドリブをします。

クォーター末試験評価方法

試験50%、平常点25%、出席25%、課題曲(最後の授業で決定)での演奏で該当するスケールを使ってアドリブができているか等、授業内容をどれだけ理解できていたかというところで評価します。また授業態度、出席率も併せて評価します。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	A Lydian Etude	「A Lydian Etude」でリディアンを使ったアドリブ、またリディアンでのバックキンの作り方等を学んでいきます。
第2回	C Major系Mode Etude 1	「C Major系Mode Etude」でメジャー系のモードを使ったアドリブ、スケールチェンジの仕方を学んでいきます。
第3回	C Major系Mode Etude 2	「C Major系Mode Etude」でメジャー系のモードを使ったアドリブ、スケールチェンジ、ブルースフィーリングの入れ方を学んでいきます。
第4回	C Minor系Mode Etude 1	「C Minor系Mode Etude」でマイナー系のモードを使ったアドリブ、スケールチェンジの仕方を学んでいきます。
第5回	C Minor系Mode Etude 2	「C Minor系Mode Etude」でマイナー系のモードを使ったアドリブ、スケールチェンジ、ドミナントでの処理等を学んでいきます。
第6回	Am 16 Beat Etude 1	「Am 16Beat Etude」でよく使われるコード進行でのカッティングによるバックキンの、アヴェイラブルノートスケールを使ったアドリブを学びます。
第7回	Am 16 Beat Etude 2	「Am 16Beat Etude」でよく使われるコード進行でのカッティングによるバックキンの、アヴェイラブルノートスケールを使ったアドリブを学びます。
第8回	試験	課題曲でのバックキンのアドリブをします。

学期末試験評価方法

試験50%、平常点25%、出席25%、課題曲(最後の授業で決定)での演奏で該当するスケールを使ってアドリブができているか等、授業内容をどれだけ理解できていたかというところで評価します。また授業態度、出席率も併せて評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーション IV (Gt)	加藤直紀

科目概要

前期で学んだスケールやコードののポジション、フレージング、バックイングの仕方等を、実際にスタンダード等の曲を使って実践していきます。主にジャズ系の楽曲を使用します。

到達目標

スケールとコードのポジションを相互に記憶できており、そのポジションでのフレージングに結びつけて考えることができている、また基本的なジャズのフレージング、バックイングの手法を理解しているところが到達目標です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Autumn Leaves 1	「Autumn Leaves」でテーマの弾き方、基本的な4ビートでのバックイング、II-Vフレーズを使ったアドリブを学んでいきます。
第2回	Autumn Leaves 2	「Autumn Leaves」でテーマの弾き方基本的な4ビートでのバックイング、II-Vフレーズを使ったアドリブを学んでいきます。
第3回	Blue Bossa 1	「Blue Bossa」でテーマの弾き方、ボサノバのバックイング、アドリブ、HP5、Alterd.、Com,dimの使い方を学んでいきます。
第4回	Blue Bossa 2	「Blue Bossa」でテーマの弾き方、ボサノバのバックイング、アドリブ、HP5、Alterd.、Com,dimの使い方を学んでいきます。
第5回	Girl From Ipanema 1	「Girl From Ipanema」でテーマの弾き方、ボサノバのバックイング、Lydian7を使ったアドリブを学んでいきます。
第6回	Girl From Ipanema 2	「Girl From Ipanema」でテーマの弾き方、ボサノバのバックイング、Lydian7を使ったアドリブを学んでいきます。
第7回	試験	課題曲でのバックイングとテーマの演奏、アドリブをします。

クォーター末試験評価方法

試験50%、平常点25%、出席25%、課題曲(最後の授業で決定)での演奏で該当するスケールを使ってアドリブができているか等、授業内容をどれだけ理解できていたかというところで評価します。また授業態度、出席率も併せて評価します。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Straight, No Chaser 1	「Straight, No Chaser」で基本的なジャズブルースの仕組み、ウォーキングベースを含んだバックイングの方法を学びます。
第2回	Straight, No Chaser 2	「Straight, No Chaser」でウォーキングベースを含んだバックイングとアドリブをします。
第3回	All The Things You Are 1	「All The Things You Are」でのテーマとバックイング、アナライズとアドリブをします。
第4回	All The Things You Are 2	「All The Things You Are」でのテーマとバックイング、アナライズとアドリブをします。
第5回	Donna Lee 1	「Donna Lee」でのテーマとバックイング、アナライズとアドリブをします。
第6回	Donna Lee 2	「Donna Lee」でのテーマとバックイング、アナライズとアドリブをします。
第7回	インプロヴィゼーションとは	アドリブとインプロヴィゼーションの違いを理解し、実践してみます。
第8回	試験	課題曲でのバックイングとテーマの演奏、アドリブをします。

学期末試験評価方法

試験50%、平常点25%、出席25%、課題曲(最後の授業で決定)での演奏で該当するスケールを使ってアドリブができているか等、授業内容をどれだけ理解できていたかというところで評価します。また授業態度、出席率も併せて評価します。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーションⅢ(Bs)	高山毅

科目概要

1年次に学んだ基本の理論をより実践的に使える様に具体的なコード進行、リズム、ジャンル、楽曲を使いベースライン作りとアドリブソロ演習を行なっていきます。

到達目標

コード進行を見て、またはサウンドを聴いて、コードトーン、テンションノート、使用可能なスケールが分かる様にします。ジャンルやリズムのフィールにあったベースラインを作れる様になりましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードプログレッション 1	メジャーキーのツーファイブ
第2回	コードプログレッション 2	循環コード(I M7 VI7 II-7 V7等)
第3回	コードプログレッション 3	マイナーキーのコード進行(ナチュラル、ハーモニック。メロディック)
第4回	コードプログレッション 4	ブルース進行とそのバリエーション(3コード ジャズブルース等)
第5回	コードプログレッション 5	メジャー & マイナークリシェ
第6回	コードプログレッション 6	サブドミナントマイナー
第7回	試験	上記の進行の組み合わせ

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。積み重ねて学習していく内容のため、欠席してしまうと次の授業の内容が理解しづらくなってしまい他の学生にも迷惑がかかります。日常的な練習で内容の理解を確実なものにしていくことが大切です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コードプログレッション 7	セカンダリードミナントを使った進行
第2回	コードプログレッション 8	ディミニッシュ7thコードを使った進行
第3回	ウォーキングのベースライン 1	ベースラインメイキング~コードトーンと経過音
第4回	ウォーキングのベースライン 2	ベースラインメイキング~スケールとグループ
第5回	スイング系(バウンス系)のフィール	ハネたフィーリングのベースラインとアドリブソロ
第6回	1コード 1	m7thの連続する進行
第7回	1コード 2	7thの連続する進行
第8回	試験	上記の進行の組み合わせ

学期末試験評価方法

出席を重視します。積み重ねて学習していく内容のため、欠席してしまうと次の授業の内容が理解しづらくなってしまい他の学生にも迷惑がかかります。日常的な練習で内容の理解を確実なものにしていくことが大切です。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーションⅣ(Bs)	高山毅

科目概要

ジャンルやリズム、テンポによるフィーリングの違いを理解した演奏を身につけます。実際に使われているコード進行や曲を題材に演習をしていきます。

到達目標

自分でベースラインを作る場合はもちろん、曲を聴いた時にもそのジャンルのフィーリングが理解出来る様にしましょう。アドリブソロや曲のアレンジにも生かせるのが理想です。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	8ビート	ロック、カントリー、ポップスにおける8ビートのベースライン
第2回	16ビート	ソウル、ファンク系の16ビートのベースライン
第3回	8ビート シャッフル	ブルース、ロックに代表される8ビートシャッフルのベースライン
第4回	16ビート シャッフル	R&B、ファンク系の16ビートシャッフルのベースライン
第5回	3/4 6/8 12/8	3拍子系のベースライン
第6回	バラード	ジャンルを問わずいわゆるバラード系のベースライン
第7回	試験	上記のリズムの中から出題

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。積み重ねて学習していく内容のため、欠席してしまうと次の授業の内容が理解しづらくなってしまい他の学生にも迷惑がかかります。日常的な練習で内容の理解を確実なものにしていくことが大切です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ラテン 1	ブラジル系(ボサノバ、サンバ等)のベースライン
第2回	ラテン 2	キューバ系(マンボ、ルンバ、ソング等)のベースライン
第3回	ラテン 3	その他(カリプソ、レゲエ、スカ等)のベースライン
第4回	変拍子	5/4、7/8等の変拍子のベースライン
第5回	曲を使った演習 1	学生のレベルに合わせた練習曲でベースラインメイキングとアドリブソロ
第6回	曲を使った演習 2	学生のレベルに合わせた練習曲でベースラインメイキングとアドリブソロ
第7回	曲を使った演習 3	学生のレベルに合わせた練習曲でベースラインメイキングとアドリブソロ
第8回	試験	上記練習曲の中から出題

学期末試験評価方法

出席を重視します。積み重ねて学習していく内容のため、欠席してしまうと次の授業の内容が理解しづらくなってしまい他の学生にも迷惑がかかります。日常的な練習で内容の理解を確実なものにしていくことが大切です。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	インプロヴィゼーション III	山村牧人

科目概要

ロック、ファンク、ジャズ、ラテン、フュージョンなど楽曲のスタイルとドラミング・コンセプトの関係を軸として、フレーズやアーティキュレーションの幅を広げていきます。様々なジャンルの奏法メカニズムやテクニックを取り込んで行くことを目標とします。

到達目標

様々なジャンルのドラミングの中から、奏法のコンセプトを取り出して習得し、ジャンルを問わず応用できることを目指します。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	初期ロックスタイル	60～70年代ロック・ドラミングのエッセンスと演習
第2回	ロックスタイルの変遷	80年代以降のロック・ドラミングの奏法と演習
第3回	ファンクスタイルとジャズからの変遷	70～80年代ファンクスタイルのエッセンスと演習
第4回	ファンクスタイルのテクニカル部分とその発展	90年代以降のファンク～フュージョン・ドラミングの奏法と演習
第5回	アドバンス・コンビネーションとサブディバイズ	リニア・ドラミングとサブディバイズ・フレージングの紹介と演習
第6回	ルーディメンツとドラミングへの応用	Roll, Paraddiddle, Flam Ruffなど基本ルーディメンツとエチュード
第7回	クォーター試験: テクニックフレージングの実践	スネア・ソロからドラムセットまで、テクニカルなフレージングを伴った実技展開演奏。

クォーター末試験評価方法

授業での平常点を主として、試験演奏に現れる習得度や練習の達成度を加えて評価します。
試験点: 30% / 平常点: 50% / 出席点: 20%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	グルーピング・フレージング	サブディバイズを単位とした、グルーピング・フレーズの組み立て方とコンビネーション応用。
第2回	フィール・チェンジ(1)	ベーシックなロックスタイルのフィールチェンジ。Halftime、2倍、4倍まで。
第3回	ギミック系アイデア	シフト、モジュレーションなどのギミックと拍子キープのトレーニング
第4回	ラテン系スタイル(1) ブラジル	ラテン・ミュージックとドラミングスタイルの歴史。ブラジル系スタイルの演習
第5回	ラテン系スタイル(2) カリブ海周辺	カリプソ～レゲエ～スカ～メレンゲなどカリブ海周辺の音楽紹介と演習。
第6回	ラテン系スタイル(3) キューバ	ソン～ルンバ～コンパルサなどキューバン・スタイルの紹介と演習。
第7回	フィール・チェンジ(2)	本クォーターの復習と、フィールチェンジでの展開演習
第8回	学期末試験: テクニック&ラテン系の混在エチュード	フュージョン～プログレッシヴな演奏ジャンルを想定したエチュード演奏。

学期末試験評価方法

テクニックへの理解度と、奏法コンセプトの習得度を実技評価します。
試験点: 30% / 平常点: 50% / 出席点: 20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	インプロヴィゼーションⅣ	山村牧人

科目概要

ドラムセットのルーツをたどり、黒人の歴史、ニューオーリンズ・ビートやアフロ6/8ポリリズム、ベーシックなジャズ・ドラミングからロックやファンクへの進化まで、ポピュラー・リズムの源泉を演習します。

到達目標

様々なスタイルの誕生の礎を知ること、オリジナルであることの意義を感じて演奏できることを目標とします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	アドバンス・ストローク	モーラー奏法、グラッドストーン奏法の背景、メカニズムの理解と導入。
第2回	ニューオーリンズ・スタイル(1)	黒人の歴史と、ニューオリンズで生まれたセカンドラインのスネア奏法。
第3回	ニューオーリンズ・スタイル(2)	ドラムセットでのセカンドライン・スタイルとロック・ドラミングへの展開。
第4回	ニューオーリンズ・スタイル(3)	テクニカルな要素を含んだコンテンポラリーなセカンドライン・ドラミングのアイデア
第5回	コール&レスポンス	2人以上のアンサンブルによるコール&レスポンスの理解とリズム・アンサンブル演習
第6回	アフロ6/8ポリリズム	6/8ナニーゴなどアフロ系ポリリズムと打楽器メロディによるドラミング演習
第7回	クォーター試験: 変拍子、混合拍子	同一テンポで複数の拍子を混合して実技演奏。

クォーター末試験評価方法

伝統的なスタイルとそのフィーリング、サウンドの再現を評価します。
試験点: 30% / 平常点: 50% / 出席点: 20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ジャズ・ドラミング(1)	ドラムセット誕生の歴史とベーシックなSwingスタイルの紹介とシンバルレガートの演習。
第2回	ジャズ・ドラミング(2)	ジャズ・ドラミングのシンコペーション・アプローチとコンビング。
第3回	ジャズ・ドラミング(3)	ハイハットのレガートやタム・グループ、ブローケンレガートなどのバリエーション。
第4回	ドラム・ソロ	ドラム・ソロの実例、考え方とパート作り。
第5回	フィール・チェンジ(3)	既存のスタイルに限らない、スタイルやリズムフィールの混在と実験的考察。
第6回	オリジナルなドラム・アンサンブル	スタイル、拍子、ジャンルなど複数の要素とオリジナル性を目指した、ドラム・アンサンブル・エチュードの作成。
第7回	オリジナル・エチュード演習	本学期に演習した奏法を盛り込んだドラム・パート譜に基づいた実技演奏の準備
第8回	クォーター試験: オリジナルエチュードの演奏	本クォーターで作成したオリジナルなエチュードを自信で実技演奏。

学期末試験評価方法

オリジナルな演奏を目指して、どのような課題を設定し演奏したかを評価します。
試験点: 30% / 平常点: 50% / 出席点: 20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	リズムセクションワークスⅢ	高山毅、宮川章彦、 阿久井喜一郎、杉野寿之

科目概要

リズムセクションの基本編成によるアンサンブルの授業です。2年次では色々なリズムやスタイルのものに触れていくことで演奏の幅を広げていきます。基本的に2週かけて1つの素材(曲)を仕上げしていく形になります。徐々に難易度が上がっていく形になりますので一つ一つクリアしていきましょう。

到達目標

リズムのバリエーションを理解していくことに加えて曲の構成やコード進行の流れをつかんで良いフィールで演奏できないと意味がありません。自分なりに考えて演奏できる様にしましょう。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	16ビート 1 Fake It	ファンク系のリズムとグループを理解して演奏できるようにしましょう
第2回	16ビート 2 Fake It	ファンク系のリズムとグループを理解して演奏できるようにしましょう
第3回	16ビート 3 T-Funk	シンコペーションのあるミディアムテンポのファンクを理解して演奏できるようにしましょう
第4回	16ビート 4 T-Funk	シンコペーションのあるミディアムテンポのファンクを理解して演奏できるようにしましょう
第5回	シャッフル 1 Fat Chicken	シャッフルを理解して演奏できるようにしましょう
第6回	シャッフル 2 Fat Chicken	シャッフルを理解して演奏できるようにしましょう
第7回	シャッフル 3 Fat Chicken (試験)	シャッフルを理解して演奏できるようにしましょう

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。アンサンブルの授業であることや同じ課題を何週かに渡って続けることから、欠席してしまうと他の学生に迷惑がかかってしまいます。あとは、積極的な受講態度であること、予習復習をすること、そしてただ上手く演奏すれば良いのではなく自分なりに楽しんで演奏出来ることが大切です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	16バウンス 1 Original View	16バウンスを理解して演奏できるようにしましょう
第2回	16バウンス 2 Original View	16バウンスを理解して演奏できるようにしましょう
第3回	パルチドアルト 1 Brooklyn High	パルチドアルトを理解して演奏できるようにしましょう
第4回	パルチドアルト 2 Brooklyn High	パルチドアルトを理解して演奏できるようにしましょう
第5回	16ビート+スイング 1 B-9	リズムの変化に対応して演奏できるようにしましょう
第6回	16ビート+スイング 2 B-9	リズムの変化に対応して演奏できるようにしましょう
第7回	変拍子 1 7th Letter From Canada	7/8拍子を理解して演奏できるようにしましょう
第8回	変拍子 2 7th Letter From Canada (試験)	7/8拍子を理解して演奏できるようにしましょう

学期末試験評価方法

出席を重視します。アンサンブルの授業であることや同じ課題を何週かに渡って続けることから、欠席してしまうと他の学生に迷惑がかかってしまいます。あとは、積極的な受講態度であること、予習復習をすること、そしてただ上手く演奏すれば良いのではなく自分なりに楽しんで演奏出来ることが大切です。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	リズムセクションワークスⅣ	高山毅、宮川章彦、 阿久井喜一郎、杉野寿之

科目概要

ジャズ、フュージョン、4ビート、ラテンといったあまり経験してないスタイルのものも多いかもしれませんが。そういった馴染みのないものにこそテクニックの向上や様々なアイデアのヒントが隠されています。バンドや自分の普段の演奏にも持ち帰れるように取り組みましょう。

到達目標

課題曲のリズムや構成がだんだん複雑になっていきますがその中でもフィールやグルーブを損なわないことが重要です。構成を理解しつつ曲のフィーリングを出していく方法を学んでいきます。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	16ビート 7 Make Me	シンコペーションを理解して演奏できるようにしましょう
第2回	16ビート 8 Make Me	シンコペーションを理解して演奏できるようにしましょう
第3回	8ビート 1 Zoom Up	ロック系の8ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第4回	8ビート 2 Zoom Up	ロック系の8ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第5回	8ビート 3 That Road	ミディアムテンポの8ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第6回	8ビート 4 That Road	ミディアムテンポの8ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第7回	8ビート 5 That Road(試験)	ミディアムテンポの8ビートを理解して演奏できるようにしましょう

クォーター末試験評価方法

出席を重視します。アンサンブルの授業であることや同じ課題を何週かに渡って続けることから、欠席してしまうと他の学生に迷惑がかかってしまいます。あとは、積極的な受講態度であること、予習復習をすること、そしてただ上手く演奏すれば良いのではなく自分なりに楽しんで演奏出来ることが大切です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	16ビート 9 Hit Me	アップテンポのファンクを理解して演奏できるようにしましょう
第2回	16ビート 10 Hit Me	アップテンポのファンクを理解して演奏できるようにしましょう
第3回	ラテンジャズ 1 Snakes	モザンビーク、ソングを理解して演奏できるようにしましょう
第4回	ラテンジャズ 2 Snakes	モザンビーク、ソングを理解して演奏できるようにしましょう
第5回	4ビート 1 So What	4ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第6回	4ビート 2 So What	4ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第7回	8ビート 6 2years	シンコペーションのあるアップテンポの8ビートを理解して演奏できるようにしましょう
第8回	8ビート 7 2years(試験)	シンコペーションのあるアップテンポの8ビートを理解して演奏できるようにしましょう

学期末試験評価方法

出席を重視します。アンサンブルの授業であることや同じ課題を何週かに渡って続けることから、欠席してしまうと他の学生に迷惑がかかってしまいます。あとは、積極的な受講態度であること、予習復習をすること、そしてただ上手く演奏すれば良いのではなく自分なりに楽しんで演奏出来ることが大切です。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	コンピュータリテラシー I	奈良部 匠平

科目概要

近年ますます音楽とVisualアートは切り離せない存在です。この時間はアーティストとして自己の楽曲を、より多くの人々に届けるため、Adobe DTPソフトを活用して、CDデザイン、ミュージック・ビデオ制作、フライヤー制作、Webデザインなどを学び、観賞用または、パッケージング、プレゼンや宣伝物の制作スキルを身につける為の科目です。

到達目標

Adobe DTPソフトを繰り返し活用し、ヴィジュアルアート制作をすることで、ソフトの機能を知り、ヴィジュアル効果を体験し、楽しみながらスキルを身につけることが目標です。またVideoに対する音楽の多大な重要性も理解できると思います。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	コンピュータの基本操作1	まずは電源の切り入りからマウスの操作、クリック、ダブルクリックなど
第2回	コンピュータの基本操作2	データの保存方法、USBフラッシュメモリの使い方など
第3回	WordやExcelについて	文字変換の仕方など。簡単な表計算。
第4回	Photoshopについて	Photoshopの立ち上げ方と簡単な初期操作
第5回	Adobe Illustratorについて	Adobe Illustratorの立ち上げ方と簡単な初期操作
第6回	権利関係について	素材を流用するときに気を付けるべき事柄全般
第7回	総合復習	基本中の基本を再確認

クォーター末試験評価方法

コンピュータの基本的なことが理解できているか。確認作業。コンピュータの基本的な理解度40%。平常時の授業態度と出席状況40%。出席点20%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Visualアートについて	PV鑑賞やデザインの例を観て、音楽やVisualアートについてのディスカッションします。
第2回	明かり・光について	光の性質の違いによるテクスチャーを体験。静止画を室内光・太陽光・スタジオライトで撮影する。
第3回	Photoshopの基本操作	CDジャケットを念頭に撮影した静止画をAdobe Photoshopに入れて明るさや色の調整を体験する。
第4回	CDジャケット制作1	写真素材を集めPhotoshopでCDジャケットサイズに加工・合成。
第5回	CDジャケット制作2	Photoshopのマジックワンドの切り抜きなど、ツールを使った編集作業をする。
第6回	CDジャケット制作3	Adobe Illustratorを使い、CD工場のテンプレートに写真素材や文字入れをする。
第7回	CDジャケット完成・提出	CDジャケット制作を完成し提出する。作品についてのコメント/ディスカッション。
第8回	作品発表	制作物の発表と、その作品についてのコメント/ディスカッション。

学期末試験評価方法

Photoshop、Illustratorの理解度と作品のオリジナリティ40%。平常時の授業態度と出席状況40%。出席点20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンピュータリテラシーⅡ	奈良部 匠平

科目概要

秋学期では画像ソフトを更に幅広く活用し、Visual作品制作の作業を行うことにより、作・編曲家として音楽とVisualアートとの関係を再認識し、「音で絵を描く、または映像を見て即座に音楽を思い浮かべる」というインスピレーションによる表現力を、楽しみながら身につけることを目標とします。

到達目標

デスクトップ・パブリッシング(DTP)のソフトを更に使いこなして、テクニックを身に付け、将来的な応用に役立てて欲しいと思います。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	PV制作について	様々なプロモーションビデオを観てディスカッションをします。クロマキー撮影や編集例も観ます。
第2回	PV 絵コンテを撮影	PVの企画書と使用するオリジナル曲を提出します。絵コンテを完成します。
第3回	PVの実写	絵コンテに沿って、映像素材の撮影を行います。クロマキー撮影も可能。
第4回	PVの編集1	残りの撮影を行い撮影の済んだ順に音楽の上に映像を載せて編集を始めます。
第5回	PVの編集2	編集の際に明暗や色調整を行い、更に様々なエフェクトを使うことを学びます。最終的な微調整を行い編集を完成し提出します。
第6回	画像編集の復習	CDジャケットの復習を兼ねた制作をしそれを完成し提出します。
第7回	作品発表	制作物の発表と、その作品についてのコメント/ディスカッション。

クォーター末試験評価方法

PV作品の完成度+オリジナリティ40% 平常時の授業態度40% 出席点20%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	画像編集ソフト・アドバンス1	PhotoshopとIllustratorのアドバンス・テクニックを学びます。
第2回	画像編集ソフト・アドバンス2	PhotoshopとIllustratorの応用テクニックを学びます。
第3回	名刺制作	画像編集ソフトを使い名刺制作をします。
第4回	フライヤー制作 1	画像編集ソフトを使いコンサートのフライヤーを制作をします。
第5回	フライヤー制作 2	フライヤーを完成します。
第6回	Webデザイン制作1	多様な音楽系Webデザインを鑑賞し、Webフロントページのデザインにとりかかります。
第7回	Webデザイン制作2	Webフロントページのデザインを完成します。
第8回	提出と作品発表	3rdクォーターの作品発表とディスカッションをします。

学期末試験評価方法

Photoshop、Illustrator活用の理解度と作品のオリジナリティ40% 平常時の授業態度40% 出席点20%

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	音楽理論Ⅲ	吉岡 靖高

科目概要

楽器演奏、作曲、アレンジをするために必要な知識や理論を学習し、音楽を自分なりに捉えることができる基礎力を養います。このような知識はプロとしては持っていないてはならないものです。2年次ではコード進行の仕組みやハーモニーの構築を理解し、幅広いジャンルの音楽に対応できるように学習します。

到達目標

春学期では音楽の基礎知識をしっかりと身に付けて、オーソドックスな楽曲のハーモニーを自分でアナライズできるようにすることを目標とします。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	ガイダンスと復習	授業のガイダンスと1年時の内容の理解の確認をします。
第2回	基礎確認	コード進行の分析、ドミナントモーション、ブルース、サブコード、Delayed Resolve など基礎知識の確認を行います。
第3回	基礎確認	Passing diminished chord、Line Cliche、Pedal Point などの基礎知識の確認を行います。
第4回	転調 1	転調の方法、種類について学習します。
第5回	転調 2	転調の方法、種類について学習します。転調を含む楽曲のコード進行の分析、適応スケールについて学習します。
第6回	まとめ	クォーターの復習、理解の確認を行います。
第7回	クォーター末試験	筆記試験を行います。

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験(筆記)60%、平常点(受講態度等)20%、出席20%を総合して評価します。授業のノートをしっかり取るのが大切です。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Modal harmony 1	チャーチモードとモーダルハーモニーについて学習します。
第2回	Modal harmony 2	チャーチモードとモーダルハーモニーについて学習します。
第3回	Modal harmony 3	ペンタトニックスケールのモードへの適応について学習します。
第4回	Reharmonization 1	コード進行をリハーモナイズする方法について学習します。
第5回	Reharmonization 2	コード進行をリハーモナイズする方法について学習します。
第6回	Reharmonization 3	コード進行をリハーモナイズする方法について学習します。
第7回	まとめ	クォーターの復習、理解の確認を行います。
第8回	期末試験	筆記試験を行います。

学期末試験評価方法

期末試験(筆記)60%、平常点(受講態度等)20%、出席20%、クォーター末(中間)評価を総合して評価します。授業のノートをしっかり取るのが大切です。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	音楽理論 IV	吉岡 靖高

科目概要

楽器演奏、作曲、アレンジをするために必要な知識や理論を学習し、音楽を自分なりに捉えることができる基礎力を養います。このような知識はプロとしては持っていないてはならないものです。2年次ではコード進行の仕組みやハーモニーの構築を理解し、幅広いジャンルの音楽に対応できるように学習します。

到達目標

学習したことを実際の楽曲に、演奏者としてまたはコンポーザー、アレンジャーとして使えるようになることを目標にします。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Melody analysis	メロディーを分析する方法やアプローチノートの種類について学習します。
第2回	Harmonize	アプローチノートに対するハーモナイズの方法を学習します。
第3回	Chord voicing 1	コード音の配置の方法、Closed、Drop2、Drop 3、Drop2&4などのメカニカルヴォイスイングについて学習します。
第4回	Chord voicing 2	コード音の配置について。Open Voicingや Tension replacementの方法、Low interval limitについて学習します。
第5回	実習	楽曲のメロディなどをアナライズしヴォイスイングする実習をします。
第6回	まとめ	クォーターの復習、理解の確認を行います。
第7回	クォーター末試験	筆記試験を行います。

クォーター末試験評価方法

クォーター末試験(筆記)60%、平常点(受講態度等)20%、出席20%を総合して評価します。授業のノートをしっかり取るのが大切です。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	Upper structure triads 1	アッパーストラクチャートライアドとは何か？スラッシュコードとの違いなどについて学習します。
第2回	Upper structure triads 2	アッパーストラクチャートライアドの作り方について、各コードタイプ、各適応スケール別に学習します。
第3回	Upper structure triads 3	アッパーストラクチャートライアドの作り方について、各コードタイプ、各適応スケール別に学習します。
第4回	Upper structure triads 4	アッパーストラクチャートライアドの作り方について、各コードタイプ、各適応スケール別に学習します。
第5回	Hybrid chords	ハイブリッドコードの作り方と適応スケールの考え方を学習します。
第6回	楽曲への応用	ハイブリッドコードやアッパーストラクチャーコードを使うリハーモナイズ及びハーモナイズについて学習します。
第7回	まとめ	クォーターの復習、理解の確認を行います。
第8回	期末試験	筆記試験を行います。

学期末試験評価方法

期末試験(筆記)60%、平常点(受講態度等)20%、出席20%、クォーター末(中間)評価を総合して評価します。授業のノートをしっかり取るのが大切です。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	コンピュータミュージックB I	山本英武

科目概要

DAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）「CUBASE」を使って現代の音源制作の基礎とアレンジの考え方を理解していきます。まず基本操作と共に音源完成までの流れと一緒に体験してCUBASE使って何が出来るのかを理解します。☆尚この授業ではUSBメモリとヘッドホンもしくはイヤホン+ヘッドホン用変換プラグが必要です

到達目標

コンピューターの基本的な操作と用語の理解。起動、保存や終了の仕方からシンセやドラムなどソフト音源の立ち上げ方、MIDIの打ち込み、音量調節とミキサーの使い方などの基本操作が出来るようになります。2Qではその上でオリジナリティを付加して音源を作れるようにします。

授業計画授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	DAWとは？コンピューターの基本操作	DAWを使って何が出来るのか、また現在どのように使われているのか？1年間の授業内容全般の流れの説明をします
第2回	課題曲①の配布	Cubaseの開き方から保存、終了の仕方を覚えます。まずは課題曲を使って全員で同じ操作をして慣れていきます。
第3回	ソフト音源(ドラム)の立ち上げ方	インストゥルメントトラックを作成してドラムのソフト音源を立ち上げてMIDIを打ち込みます。トラックの意味を理解します。
第4回	MIDIの打ち込み方	シンセサイザーの音源を立ち上げてペースをMIDIで打ち込みます。ペロシティや音の長さの調整を理解していきます。
第5回	課題曲②、インスペクターについて	複数のドラム音源を打ち込みます。音量やパンニングの調節の仕方、インスペクターの見かたや使い方を理解します。
第6回	ソフト音源の音色の選び方	プリセットされた音色から自分の探している音を絞り込んで選んでいきます。またその調整方法について理解します。
第7回	バランスの整え方	ミキサー画面を使って使って全体が聞きやすいようそれぞれのトラックの音量を調整していきます。

クォーター末試験評価方法クォーター末試験評価方法

出席点70%提出物30%。課題曲①課題曲②それぞれをプロジェクトデータにて提出します。講師の指示通りにMIDIが入力出来ているか、基本操作が理解出来ているかや音量やバランスが適正になっているかなどをチェックします。この段階でしっかり理解する事がDAWの全体の理解につながります。

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲③の配布	課題曲③のコードやこの曲を通して学ぶ目的を説明します。プロジェクトデータを開いて歌のデータを確認します。
第2回	アレンジの方向性を決める	アレンジの方向性に合ったドラムや楽器の音色を探していきます。グループエージェントの使い方を学びます。
第3回	プリセットパターンの使い方	すでにプリセットされているドラムのパターンの使い方を学びます。トラックにMIDIとして張り付けて編集します。
第4回	ベースの打ち込みと考え方	アレンジの方向性に合ったベースラインについての考え方と音色、ドラムとの組み合わせ方の基本について考えます
第5回	シンセサイザーの基本	シンセサイザーの基本的な知識、フィルターやレゾナンスについて学び、的確な音色を考え打ち込んでいきます。
第6回	素材を使ってコーラスを作る	ピッチ(音程)を変えるプラグイン、ピッチコレクトを使ってサビなど必要な所にボーカル素材を使いコーラスを作ります。
第7回	ボーカルにリバーブをかける	FXチャンネルを使ってボーカルにリバーブやディレイをかけ、センドを使ってエフェクトの量をコントロールします。
第8回	バランスを整えて提出	マスターチャンネルにプラグインを使って音圧を上げた後、全体のバランスを整えて提出します

学期末試験評価方法

出席点50%提出物50%。課題曲をアレンジしたプロジェクトデータを提出します。IQと違い自分なりにオリジナリティを考えアレンジ出来たか、またそのアイデア、ペロシティやタイミング、音色などが音楽的になっているかなどと共に、より操作が深く理解出来ているかなどをチェックします。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	コンピュータミュージックBⅡ	山本英武

科目概要

課題曲をアレンジしながら「CUBASE」のさらに詳しい操作方法と共に、イコライザーやプラグインを使って音質や音圧を高め、mp3やCDで聞けるように書き出すミックスダウンを学びます。またオーディオの録音方法やファイルへの扱い方を学んでいきます。

到達目標

楽曲に対してよりの確なアレンジをした上で、イコライザーや様々な種類のプラグインを理解し、またそれを使いこなすように。オーディオファイルの編集や音質調整の仕方を理解、対応出来るようにし、ゼロから音源完成まで1人で出来るようにします。

授業計画授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	課題曲の説明	課題曲のコードやこの曲を通して学ぶ目的を説明します。まずは曲を理解して方向性を考えていきます
第2回	オーディオファイルの扱い方	オーディオファイルの見方や表示されている数値の意味や編集の仕方について理解していきます
第3回	プラグインについて	音色や音量に変化を付ける「プラグイン」の種類や使い方について解説し、理解していきます
第4回	アンプシュミレーターの使い方	ギターやベースの為のプラグインであるアンプシュミレーターの使い方について理解していきます
第5回	EQ(イコライザー)の使い方	音質調整の為に使うイコライザーについて、周波数帯域やQ(幅)、デシベル(量)やEQタイプについて理解していきます
第6回	ステムミックスについて	ドラムなどチャンネル数の多い楽器ごとにグループにまとめてバランスをとる方法、ステムミックスについて理解します
第7回	ミックスダウンと音圧	マキシマイザーなどを使い音圧を上げ、その上で音質を調整していく方法について学んでいきます。

クォーター末試験評価方法クォーター末試験評価方法

出席点50%提出物50%。課題曲をアレンジし、ミックスダウンしたプロジェクトデータを提出します。オーディオファイルに対してプラグインやイコライザーなどが的確に使われているかなど、オリジナリティに加え音響的な事も評価の対象になります。

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	新規プロジェクトの立ち上げ	課題曲もしくはオリジナル曲をどのようにするか考え、一からプロジェクトを立ち上げていくやり方を理解します。
第2回	仮のリズムやコードを入力	作業をスムーズに進めていく為に、テンポを決め一旦ラフにリズム、コード、メロディを入れていきます。
第3回	オーディオ録音の仕方	オーディオインターフェースの使い方や入力レベルの取り方また注意すべき点などについて学びます
第4回	テイク選びとクロスフェード	オーディオ録音で録ったテイクの良い部分を1トラックにまとめるやり方と繋げ方について学びます。
第5回	コンプレッサーの必要性和使い方	ボーカルや各楽器の音量調整の為に使うコンプレッサーについての基本知識や種類、使い方について学びます。
第6回	空間系のプラグインについて	音に広がりを出すために空間系のプラグインの基本知識とその種類、適切なかけ方など使い方について学びます
第7回	オートメーションの使い方	より聞きやすくするために場所によって細かく音量などをコントロールする為に使う「オートメーション」について学びます
第8回	ミックスダウンした上でデータを提出	適切なバランスと音質に調整した後、2ミックスのオーディオファイルに書き出します。これまでの総まとめです。

学期末試験評価方法

出席点50%提出物50%。課題曲、もしくはオリジナル曲をアレンジし、必要に応じてオーディオ録音し、ミックスダウンしたプロジェクトデータを提出します。ゼロから音源完成まで総合的に1人で出来るようになっているかなどをチェックします。

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	オリジナル動画作品制作B I	轟 光太郎

科目概要

1年次に身に着けた撮影、編集技術を駆使して、内容にフォーカスした動画制作を実施

到達目標

- ・作品内容が整理できる
- ・グループ制作が出来る
- ・公開動画のルールを理解した作品制作

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品テーマ 発表	趣旨説明、グループ分け、公開動画制作のルールについて
第2回	企画	グループで企画ミーティング
第3回	絵コンテ	グループで絵コンテ作成～提出
第4回	作品制作	グループで撮影～編集
第5回	作品制作	グループで撮影～編集
第6回	作品制作	グループで撮影～編集
第7回	試験	作品提出

クォーター末試験評価方法

出席、取り組み姿勢、
作品成果(期日内に完成出来るか、内容が整理されているか、オーダーに対応しているか)

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品観賞	1Qで制作した動画を観賞
第2回	作品テーマ 発表	趣旨説明、参考動画観賞
第3回	企画	グループで企画ミーティング
第4回	絵コンテ	グループで絵コンテ作成～提出
第5回	作品制作	グループで撮影～編集
第6回	作品制作	グループで撮影～編集
第7回	作品制作	グループで撮影～編集
第8回	試験	作品提出

学期末試験評価方法

出席、取り組み姿勢、
作品成果(期日内に完成出来るか、内容が整理されているか、オーダーに対応しているか)

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	オリジナル動画作品制作BⅡ	轟 光太郎

科目概要

1年次に身に着けた撮影、編集技術を駆使して、内容にフォーカスした動画制作を実施

到達目標

- ・見応えのある作品を制作
- ・グループ制作が出来る
- ・公開動画のルールを理解した作品制作

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品観賞	2Qで制作した動画を観賞
第2回	作品テーマ 発表	趣旨説明、グループ分け、参考動画観賞
第3回	企画	グループで企画ミーティング
第4回	絵コンテ	グループで絵コンテ作成～提出
第5回	作品制作	グループで撮影～編集
第6回	作品制作	グループで撮影～編集
第7回	試験	作品提出

クォーター末試験評価方法

出席、取り組み姿勢、
作品成果(期日内に完成出来るか、内容が整理されているか、オーダーに対応しているか)

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	作品観賞	3Qで制作した動画を観賞
第2回	作品テーマ 発表	趣旨説明、参考動画観賞
第3回	企画	グループで企画ミーティング
第4回	絵コンテ	グループで絵コンテ作成～提出
第5回	作品制作	グループで撮影～編集
第6回	作品制作	グループで撮影～編集
第7回	作品制作	グループで撮影～編集
第8回	試験	作品提出

学期末試験評価方法

出席、取り組み姿勢、
作品成果(期日内に完成出来るか、内容が整理されているか、オーダーに対応しているか)

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	音楽著作権 I	松山 誠

科目概要

著作権という考え方はいつ頃生まれたのでしょうか？実は著作権は150頃にヨーロッパで発明されたある「モノ」がきっかけとなって生まれたのです！それはいったい何の発明だったのでしょうか？・・・「著作物とは何か？」「著作権とは何か？」「著作権は何故生まれたのか？」「著作権は誰のためにあるのか？」といった著作権の基本中の基本について学びます。

到達目標

著作権の目的や成立、発達の歴史を学び、
著作権が一部の才能ある者の為にあるのではなく広く皆の為にあることを理解する。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作権とはなにか？	著作権とはなにか？を「著」「作」「権」という三文字を使って定義づけてみる。
第2回	著作権の誕生	著作物は太古の昔から存在していたが、「著作権」というアイデアが生まれたのは比較的新しい。
第3回	著作物とは何か？	それは著作物か？
第4回	著作物の要件である「創作性」とは何か？	著作権で重要な概念である「創作性」に特に着目する
第5回	著作者とは何か？	著作物は必ずしも「人」が創作するとはかぎらない。
第6回	著作者人格権	人格に権利が付与される法律は「著作権法」だけ！
第7回	理解の確認	

クォーター末試験評価方法

著作権→著作権と著作隣接権→著作権と著作者人格権の相違ができていますか？
評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作(財産)権	著作権は権利の束
第2回	著作権の変動	著作者と著作権者は違う！
第3回	ベルヌ条約と万国著作権条約	よく見かける©表示とは何ですか？
第4回	著作権の期限	著作権は永遠不滅の権利ではない！
第5回	著作隣接権	著作物はそれを伝えるものを必要とする
第6回	著作権の制限	著作権は強力な権利であるが、ある局面においては強く制限される
第7回	盗作裁判と著作権	盗作か否かの判断はどこでなされるのか？
第8回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

学期末試験評価方法

著作権には種類があること、期限があることを理解しているか？
著作権の国際間の保護の実態を把握しているか？
レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	音楽著作権Ⅱ	松山 誠

科目概要

3&4クォーターにかけては、「ビジネス著作権検定<初級>」という資格取得を目標に、広く音楽だけにとどまることなく著作権全般についての知識の習得を目指すことにより、著作権法の目的についての知識を高めることを目的とします。

到達目標

資格を取得し、音楽業界で働く意味を理解する。

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	イントロダクション	ビジネスと法に関する基礎知識～「契約する」とは何のこと？
第2回	著作権法の目的	著作権法とはどのような法律か？
第3回	そもそも著作物とは何か？ 何が著作物でないか！	猿が描いた絵は著作物か？100円ショップで売ってるコップとガラス工芸家で作ったコップの差はどこにあるのか？
第4回	二次的著作物・編集著作物 データベースの著作物とは？	オリジナルだけが著作物ではない！ビジネスにおいては翻訳・翻案・変形・脚色・映画化など二次的利用形態が非常に多い。
第5回	著作者と著作者人格権	著作者とは誰か？人格権とは何か？
第6回	著作権の代表的権利	複製権など直接ビジネスに結びつく権利を学ぶ
第7回	理解の確認	著作権についてのペーパーテスト

クォーター末試験評価方法

評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	著作隣接権	実演家・レコード製作者・放送事業者の権利
第2回	著作権・著作隣接権の保護期間	期限付きの権利としての著作権
第3回	著作物を無断で利用できる例外	著作権は無限の権利ではなく、制限されている
第4回	著作権の侵害	著作権が侵害されたときはどうするのか？
第5回	インターネットやソフトウェアをめぐる著作権問題	HPに引用するのは自由か？リンクは自由に貼れるか？など身近に起こるIT環境下での問題点
第6回	著作権法周辺の基礎・情報モラルの問題	知的財産全般の基礎・情報倫理問題
第7回	模擬テスト	模擬テスト(1)
第8回	模擬テスト解説	模擬テスト(1)の解説

学期末試験評価方法

評価の方法:レポート100%、但し、欠席一回につき5点を減点

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
春	マネージメント研究 I	小宮山 博之

科目概要

まず音楽業界でよく使われる用語の解説と使用方法を熟知して音楽業界人が普通に話してる内容を理解できるようにする。次に音楽業界の仕事の解説し、用語の必要性を理解する。

到達目標

言葉の意味や用途を理解できる、音楽業界の成り立ちがわかる。音楽業界用語が使える。

授業計画

1クォーター	テーマ	授業内容
第1回	業界用語の基礎知識①	音楽業界でよく使われる音楽業界用語を抽出し、解説を交えながらわかりやすく説明していく。マネージメント用語50その①
第2回	業界用語の基礎知識②	音楽業界でよく使われる音楽業界用語を抽出し、解説を交えながらわかりやすく説明していく。音楽マネージメント用語50その②
第3回	業界用語の基礎知識③	音楽業界でよく使われる音響照明用語を抽出し、実際に写真を見せて解説を交えながらわかりやすく説明していく。音響照明用語50①
第4回	業界用語の基礎知識④	音楽業界でよく使われる音響照明用語を抽出し、実際に写真を見せて解説を交えながらわかりやすく説明していく。音響照明用語50②
第5回	業界用語の基礎知識⑤	音楽業界でよく使われる舞台用語を抽出し、解説を交えながらわかりやすく説明していく。舞台用語50その①
第6回	業界用語の基礎知識⑥	音楽業界でよく使われる舞台用語を抽出し、解説を交えながらわかりやすく説明していく。舞台用語50その②
第7回	業界用語の基礎知識試験	音楽業界用語全般(マネージメント・音響照明・舞台)用語の解説と使用用途の理解度確認

クォーター末試験評価方法

出席30%・平常点40%・試験30%

2クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音楽業界の仕事①	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その1回目はレコード会社と契約アーティスト
第2回	音楽業界の仕事②	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その2回目は音楽プロダクションと音制連
第3回	音楽業界の仕事③	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その3回目は芸能プロダクションと音事協
第4回	音楽業界の仕事④	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その4回目は全国のイベンターと扱うアーティスト
第5回	音楽業界の仕事⑤	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その5回目は音楽出版社とJASRAC
第6回	音楽業界の仕事⑥	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その6回目は広告代理店
第7回	音楽業界の仕事⑦	音楽業界全体を把握していくために音楽業界の成り立ちや各会社の役割、仕事内容を解説。その7回目は音楽に関係するその他の会社
第8回	音楽の仕事の役割を把握できているか	そのすべてを把握できたか、それぞれの関係を確認する意味で音楽業界相関図を作る

学期末試験評価方法

出席30%・平常点40%・試験30% クォーターごとのまとめ

プロミュージシャン学科

学期	科目名	担当講師
秋	マネージメント研究Ⅱ	小宮山 博之

科目概要

就職を目指すもの、デビューを目指すもの、それぞれのセルフマネージメントについて具体的に卒業生の動向や会社名や事例をあげて考察していく。

到達目標

それぞれのクォーターで学んだことを消化し、自己アピールの完成を最終目標とします。その結果としての就職内定やデビュー、育成契約などを勝ち取る

授業計画

3クォーター	テーマ	授業内容
第1回	パーソナルマネージメント①	スケジュール管理と仕事獲得、名刺の扱い方、売り込み方、自己媒体の確立
第2回	パーソナルマネージメント②	龍収書の書き方と請求書の書き方及び入金管理、会社設立について
第3回	パーソナルマネージメント③	簡単な経理事務、締め日、支払日の設定、所得税の確定申告、青色申告、税務処理などについて
第4回	パーソナルマネージメント④	交渉について、有利な交渉、不利な交渉、ギャラの設定、相場
第5回	パーソナルマネージメント⑤	在学中の学校活用法、キャリアセンターの活用法
第6回	パーソナルマネージメント⑥	卒業後の学校活用法、キャリアセンターの活用法
第7回	パーソナルマネージメントについて試験	授業の中で話した内容の確認

クォーター末試験評価方法

出席30%・平常点40%・試験30%

4クォーター	テーマ	授業内容
第1回	音楽業界・仕事とデビュー①	就職への認識を高めるために様々な企業会社を紹介していく。その中で自分が当てはまるものがあるか検証していく～コンサート関係
第2回	音楽業界・仕事とデビュー②	デビューに向けて何が必要か考えていく。キャッチな資料づくり。プロフィールや動画編集のポイント
第3回	音楽業界・仕事とデビュー③	就職への認識を高めるために様々な企業会社を紹介していく。その中で自分が当てはまるものがあるか検証していく～クリエイティブ関係
第4回	音楽業界・仕事とデビュー④	デビューに向けて何が必要か考えていく。一人の支持者を見つけるために。音源制作と作家活動
第5回	音楽業界・仕事とデビュー⑤	就職への認識を高めるために様々な企業会社を紹介していく。その中で自分が当てはまるものがあるか検証していく～プロジェクト関係
第6回	音楽業界・仕事とデビュー⑥	デビューに向けて何が必要か考えていく。アピール方法など。レコーディングとライブ
第7回	音楽業界・仕事とデビュー⑦	進路の決定と内定、入社後の過ごし方、卒業後の活動方法。
第8回	卒業後の進路について	尚美在学中に得たこと、それを有効に使えると考えられることについての作文(1200字以上)

学期末試験評価方法

出席30%・平常点40%・試験30% 1年間通して総合的評価も加味